

令和 4 (2022) 年 版

消 防 年 報



足 利 市 消 防 本 部

(令和 5 (2023) 年刊行)

足利市民憲章

(昭和45年5月5日制定)

私たちは、自然にめぐまれ、はるかなる昔から文化がひらけていた学問のまち、産業のまち足利市を心から愛し、より美しく、より豊かにするためにこの憲章を定めます。

1. 足利市は日本最古の学校のあるまちです。

教養を深め、文化のかおり高いまちをつくり、すぐれた伝統をさらに発展させましょう。

1. 足利市は美しいまちです。

めぐまれた自然を愛し、清潔で健康なまちをつくりましょう。

1. 足利市は善意のまちです。

理解と信頼をもって、みんなのしあわせのためにお互いに助け合いましょう。

1. 足利市は希望にみちたまちです。

明るい家庭をつくり、次代をになうこどもに誇りと希望をもたせましょう。

1. 足利市は伸びゆくまちです。

しごとを愛し、みんなの創意で時代の進歩に調和した活気のあるまちをつくりましょう。

市の木・市の花・市の鳥

(令和3年9月1日制定)

市の木 イチョウ

本市の誇れる歴史的財産のひとつである鑿阿寺には、栃木県指定天然記念物に指定されている大イチョウがある。また、史跡足利学校や市内の神社、街路樹、公園などにも広く植えられ、市民からも親しみのある木である。

市の花 フジ

世界一の大藤として市内外の多くの方が訪れるあしかがフラワーパークには、栃木県指定天然記念物に指定されているフジがある。また、市内の社寺や公園などにも植えられ、市民からも広く認知されている花である。

市の鳥 カルガモ

本市の文化・歴史施設である史跡足利学校や鑿阿寺のお堀、自然豊かな渡良瀬川をはじめとする市内の川にも生息している。また、ヒナを連れて歩く姿は毎年話題となり、市民に愛されている鳥である。

目 次

足利市のあらまし	1
足利市の消防機関配置図	2
足利消防のあゆみ	3
総 務 編	
消防組織	15
消防職員配置状況	15
消防職員年齢表	16
消防職員在職年数表	17
市総予算と消防予算（一般会計）	17
消防庁舎の現況	18
令和4（2022）年度主要事業	19
予 防 編	
指定防火対象物数	22
建築物同意事務処理状況	23
消防用設備等検査数	23
中高層（4階以上）建物の現況	24
危険物施設の現況	24
貯蔵取扱倍数別危険物施設数	25
各種申請届出等事務処理状況	26
消防広報等実施状況	27
各種防火団体	28
警 防 編	
消防車両の配置状況	32
主な消防機器の配備状況	33
水防資器材一覧	35
山林火災器具	36
消防水利の現況	36
気象年報	37
通信指令編	
通信指令施設等の現況	38
災害・予警報受理状況	39
消防通信指令施設系統図	42
火 災 編	
火災発生状況総括表	43
過去5年間の火災発生状況	44
地区別火災発生状況	45
分団別火災発生状況	46
出火原因別火災発生状況	47

救 急 編

救急出動件数（10年間の推移）	48
救急出動内訳（令和4（2022）年中）	48
月別事故種別救急出動件数	49
曜日別出動件数	50
時間別出動件数	50
覚知別出動件数	50
署別出動件数	51
地区別出動件数	51
年齢別搬送人員	52
事故種別・傷病程度別搬送人員	52
急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員	53
救急隊員の行った応急処置件数	54
応急手当指導件数	54

救 助 編

救助出動及び活動状況	55
署別出動状況	55
月別出動状況	56

消 防 団 編

消防団の組織	57
消防団員の在職年数及び年齢	58
分団詰所の現況	59
消防車両の配置状況	60

足利市のあらし

沿革

足利市は、室町幕府を開いた足利氏の発祥の地として、また、日本最古の学校「足利学校」や足利氏ゆかりの「鑿阿寺」で象徴されるように、文化と史跡のまちとして知られ、上古の時代には、関東地方の政治上の重要地として栄え、奈良時代から“織物のまち足利”の名は文献にも明らかにされています。昭和初期にかけては、特産の「足利銘仙」が全国的に名を高め、戦後に至ってからは、トリコット産業が隆盛を極め、メリヤス、ニット製品などを含めた総合的な繊維産業のまちとして発展を遂げ、近年はアルミや機械金属、プラスチック工業などが中心となり、平成 23(2011)年には北関東自動車道の全線開通により首都圏に近接した産地として成長しています。

また、平成 30(2018)年 4 月に栃木県内では 35 年振りとなる JR の新駅「あしかがフラワーパーク駅」が誕生し、市外からのアクセス利便性が向上したことにより、国内外からの観光客も多く訪れる観光都市としてのまちなづくりも進められています。

地勢

足利市は、関東平野の北方に連なる低山岳地帯と平野部の境にあつて、日光市足尾町に源を発する渡良瀬川が市の中央部を東西に流れ、北には日光の男体山、西には赤城山や浅間山を望むことができ、南には広大な関東平野がひらける豊かな自然に恵まれたまちです。

また、東京から 80km の首都圏内にあり、東と北に佐野市、西は群馬県桐生市、南は群馬県館林市・邑楽郡邑楽町・太田市に隣接し、両毛経済圏のほぼ中心部にあります。

気候は比較的温和ですが、冬から春先にかけて“赤城おろし”とか“からっ風”などと呼ばれる、上州名物の強い北西の季節風が吹くことがあります。

地理的条件

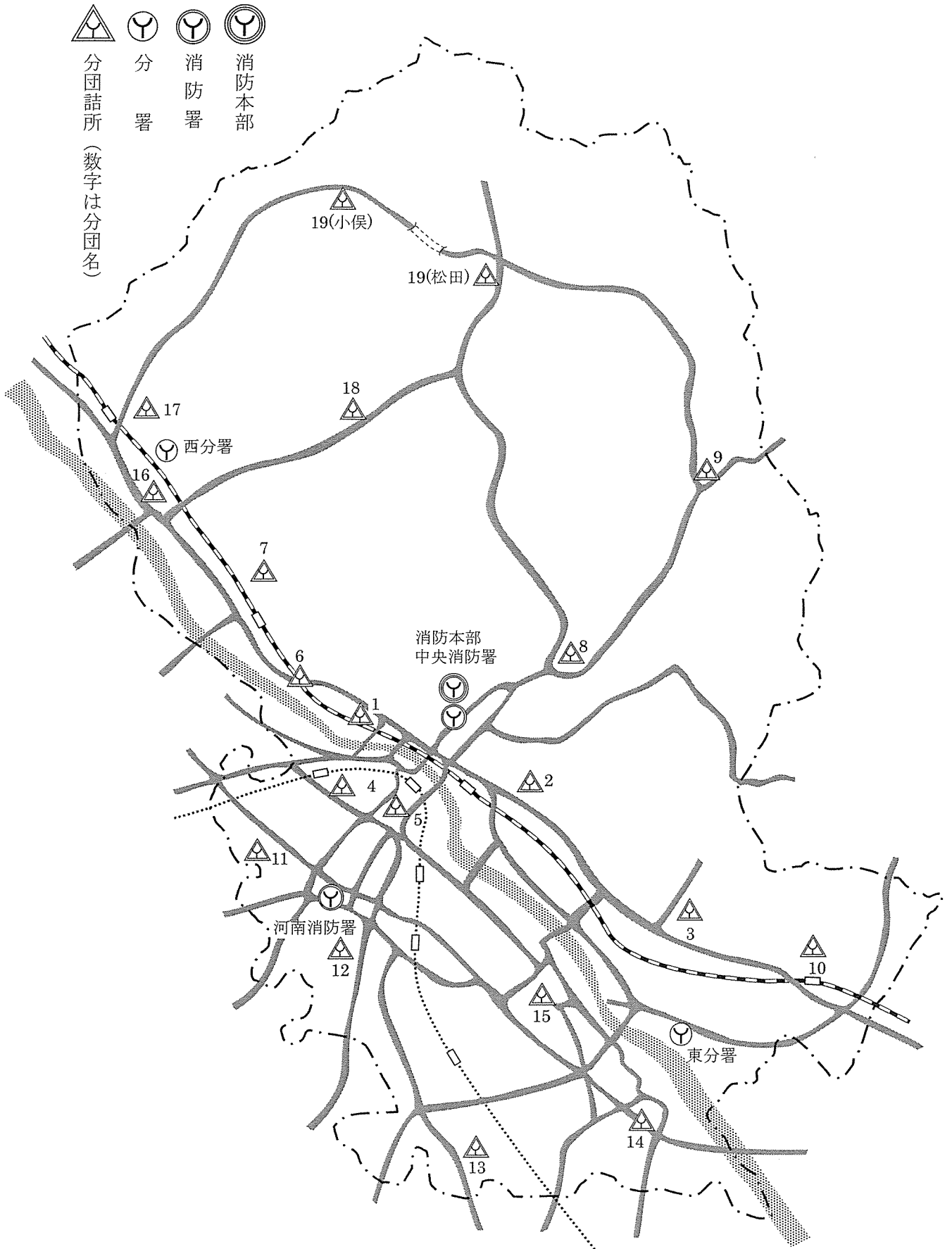
面積	177.76km ²	東西	18.8km
		南北	19.1km
消防本部の位置	東経 139度28分	北緯	36度21分

世帯数、人口（登録） (各年4月1日現在)

区分 年度	人 口			世帯数	1世帯当り 人 口	1km ² につき	
	計	男	女			人口	世帯数
平成31年	143,608	70,461	73,147	63,249	2.3	808	356
	4,537	2,523	2,014	2,738	1.7	26	15
	-	-	-	646	-	-	4
令和2年	141,960	69,651	72,309	63,473	2.2	798	357
	4,995	2,854	2,141	3,164	1.6	28	18
	-	-	-	643	-	-	4
令和3年	140,444	68,987	71,457	63,665	2.2	790	358
	4,995	2,810	2,185	3,197	1.6	28	18
	-	-	-	650	-	-	4
令和4年	138,641	68,112	70,529	63,705	2.2	780	358
	4,657	2,580	2,077	2,767	1.7	26	16
	-	-	-	664	-	-	4
令和5年	136,698	67,155	69,543	63,753	2.1	769	359
	5,080	2,805	2,275	3,051	1.7	29	17
	-	-	-	667	-	-	4

※上段/日本人、中段/外国人、下段/複数国籍となります。

足利市の消防機関配置図



足利消防のあゆみ

足利消防は、享保年間にその端を発したことが史実によって明確である。以下そのあゆみの大要は次のとおりである。

- 享保 20. はしご、水かご、手桶、鳶口等の消防装備を保有した。
- 明治 9. 雲竜水、竜吐水を保有した。
11. 4. 各地区単独の消防組織ができた。
19. 2. 足利町消防組規則が制定され消防組が組織された。
22. 4. 1 町制が施行された。
27. 2. 9 勅令第15号をもって消防組規則が公布され足利町消防組に改組し、腕用ポンプ10台が整備された。
5. 消防組は5部編成となり定員を500名とした。
44. 蒸気ポンプ1台を購入した。
- 大正 元 蒸気ポンプ1台を増車した。
10. 1. 1 市制が施行された。
- 市制施行により足利市消防組と改称し定員を445名とした。
10. 手引ガソリンポンプ1台を購入した。
11. 手引ガソリンポンプ1台を増車した。
13. 手引ガソリンポンプ1台を増車した。
- 1ヵ年無火災につき足利警察署長から表彰された。
15. 9. 15 足利市消防組常設消防部が定員6名で開設された。
- 消防ポンプ自動車1台を初めて購入し、常備部へ配置した。
- 昭和 2. 消防組常備部に火の見櫓が建設された。火災専用電話を新設した。
3. 火災報知機新設工事を着手した。(工費22,250円)
4. 5. 4 火災報知機工事が完成した。(受信機1基・発信機65基)(市街地)
6. 4. 1 消防組常備部の定員6名を3名増員し9名とした。
- 消防ポンプ自動車1台を増車した。(常備部)
- 消防組を改組し定員445名を191名に減じた。
12. 2 財団法人大日本消防協会から優良消防組として旌旗が授与された。
8. 2. 11 県消防協会長から優良消防組として表彰された。
9. 9. 15 オート三輪自動車ポンプ1台を増車した。(第3部)
10. 消防組を改組し定員191名を186名に減じた。
12. 足利市警備係及び常備消防手の制限を制定した。
13. 4. 1 消防組常備部の定員を11名とした。
14. 3. 31 昭和14.1.24勅令第20号をもって警防団令が公布され消防組及び防護団が廃止された。
4. 1 勅令をもって警防団令が公布されたのにもない足利市警防団を組織し、団長1・副団長2・分団長6・副分団長12・部長18・班長66・団員618・工作部30・救護部30・防毒部30・計813名とした。1箇分団の定員を120名として分団長1・副分団長2・部長3・班長11・団員103名で6箇分団編成とした。
16. 3. 25 大日本警防協会から優良警防団として表彰旗が授与された。
4. 1 消防組常備部の定員を14名とした。
5. 3 消防ポンプ自動車3台を購入した。(第3・4・5分団)
8. 14 消防ポンプ自動車3台を購入した。(第1・2・6分団)
9. 1 分団の定員120名をそれぞれ133名に増員した。
17. 2. 11 県知事から成績優秀な警防団として竿頭綬を授与された。

- 昭和 17. 5. 第2・3分団詰所を新築した。(通2丁目・伊勢町)
8. 市の行政機構を改革し、警防課を新設した。
8. 14 警防団常備部用救急自動車を配置した。
10. 12 警防団本部・常備消防部庁舎を新設した。(延528㎡)
11. 2 市の行政機構を改革し、警防課を防護課と改称した。
18. 10. 5 第4分団詰所を新築した。
10. 22 防衛・土木・水道の3係を合併、警防工作課に改称し市の機構を改めた。
19. 4. 29 第1分団詰所を新築した。(通6丁目)
10. 15 第6分団詰所を新築した。(柳原町)
11. 12 第5分団詰所を新築した。(大町)
19. 第2・6分団に予備消防ポンプ自動車を配置した。
(地元有志の寄付による)
20. 第3分団消防ポンプ自動車帝都応援のため供出したので補充として1台を購入した。
21. 2. 4 警防団の改組により定員813名を383名に減じた。
3. 5 市の機構改正によって警防事務を庶務課に移した。
21. 常備部の定員14名を2名増員し、16名として強化を図り消防ポンプ自動車を4台とした。
22. 11. 3 昭和22.4.20勅令第185号をもって消防団令の公布により警防団が廃止された。勅令をもって消防団令が公布されたのにもない、即日足利市消防団を編成、組織は団長1・副団長2・分団長6・副分団長6・部長12・班長30・団員246名とし、1箇分団の定員は分団長1・副分団長1・部長2・班長5・団員41の計50名、6箇分団編成とした。更に常備部19、計322名となった。
23. 3. 初代消防長に木村浅七氏が就任した。
7. 24 消防組織法の制定公布により足利市消防団に改めた。
12. 1 団旗及び分団旗を新調した。
24. 6. 1 消防組織法の制定により足利市消防本部・消防署が発足した。
(人員20名)
10. 12 水槽付消防ポンプ自動車1台を購入した。
25. 火災報知機20基を増設した。
8. 1 国家消防庁長官から優良消防団として表彰された。
26. 3. 30 毛野村合併により2箇分団増設、定員を404名とした。
4. 1 消防本部の定員を30名とした。
5. 6 オート三輪消防ポンプ自動車1台を購入した。(第8分団)
27. 4. 1 消防団組織の少数精鋭主義により、定員404名を243名に減じた。
11. 1 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第5分団)
28. 4. 1 山辺町合併により3箇分団増設、定員を333名とした。
12. 10 足利市消防賞じゅつ金条例が制定された。
29. 4. 1 消防本部の定員を32名とした。
8. 1 三重・山前村合併により4箇分団増設、定員を453名とした。
11. 1 北郷・名草村合併により3箇分団増設、定員を543名とした。
11. 22 第2代消防長に瀧島新三郎氏が就任した。
12. 8 消防ポンプ自動車2台・オート三輪消防ポンプ自動車1台を購入した。(署増車、第6・17分団更新)
29. 火災報知機15基を増設した。

- 昭和 30. 5. 1 気象観測装置を設置し観測を開始した。
8. 6 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第2・3分団)
9. 28 消防専用中短波無線電話装置を整備した。
12. 15 消防ポンプ自動車を救急車に改造し救急業務を開始した。
30. 火災報知機20基を増設した。
31. 8. 1 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第1・4分団)
11. 25 火災報知機36基を増設した。
32. 3. 1 国家消防本部長から優良消防機関として表彰旗が授与された。
10. 15 火災報知機受信機1基を増設した。(署)
12. 17 救急車1台を更新した。
12. 31 水槽付消防ポンプ自動車1台を増車した。
33. 4. 1 指令車1台を購入した。
11. 1 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第7分団)
34. 4. 1 富田村合併により1箇分団増設、定員を573名とした。
5. 6 第7代消防団長に長竹寅治氏が就任した。
8. 1 富田分遣所が開設された。
消防ポンプ自動車2台を購入した。(富田分遣所、第8分団更新)
化学消防ポンプ自動車1台を購入した。
火災報知機12基を増設した。
12. 1 消防本部の定員を52名とした。
35. 7. 1 矢場川村合併により1箇分団増設、定員を603名とした。
11. 1 火災報知機23基を増設した。
36. 5. 10 消防団の機構整備を行い、従来20箇分団編成であったが、これを11箇分団編成に縮小し、定員333名とし、その組織は団長1・副団長2・分団長11・副分団長11・部長11・副部長11・班長33・団員253名とした。
7. 10 山辺分遣所が開設された。
37. 9. 28 第8分団詰所を新設した。(利保町)
10. 1 御厨町及び坂西町合併により8箇分団増設、定員を573名とした。
編成は分団総数19箇分団となり、その組織は団長1・副団長2・分団長19・副分団長19・部長19・副部長19・班長57・団員437名とし、1箇分団の定員は分団長1・副分団長1・部長1・副部長1・班長3・団員23の計30名となった。
御厨分遣所が開設された。
坂西分遣所が開設された。
12. 1 消防本部の定員を91名とした。
38. 2. 6 消防ポンプ自動車2台を購入した。(御厨・坂西分遣所)
3. 20 第6分団詰所を新築した。(五十部町)
7. 31 第18分団詰所を新築した。(松田町)
11. 30 小曾根町水防倉庫を新築した。
39. 3. 17 第12分団詰所を新築した。(福居町)
4. 27 指令車を更新した。
5. 13 火災報知機60基を増設した。
火災報知機受信機2基を増設した。(御厨・坂西分遣所)
8. 1 第3代消防長に神村實一氏が就任した。
10. 31 第3分団詰所を増改築した。(鷗木町)
11. 25 坂西分遣所通信事務室を増設した。
40. 1. 25 中短波を超短波無線機に切替えた。(152.77MHZ)

- 昭和 40. 4. 1 消防本部の定員を100名とした。
5. 28 可搬式動力ポンプ1台を更新した。
6. 21 火災報知機19基を増設した。
10. 6 第15分団詰所を増改築した。(福富町)
12. 27 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新した。
41. 7. 15 火災報知機30基を増設した。
7. 18 救急車1台を更新した。
8. 12 消防ポンプ自動車1台を更新した。(山辺分遣所)
8. 31 奥戸町水防倉庫を新築した。
10. 11 広報車を新規に配置した。(ライオンズクラブから寄付受入)
42. 1. 25 第8代消防団長に小松原健吉氏が就任した。
2. 25 第2分団詰所を新築した。(助戸3丁目)
9. 20 消防ポンプ自動車2台を増車した。(署、第5分団)
10. 26 山辺分遣所庁舎を新築した。(165㎡)
11. 13 化学消防ポンプ自動車1台を増車した。(山辺分遣所)
43. 4. 1 消防本部の定員を105名とした。
4. 18 作業車1台を更新した。
8. 16 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第9分団)
44. 3. 7 消防本部庁舎を新築した。(1,613.75㎡)
6. 26 救急車1台を増車し署に配置した。
8. 5 消防ポンプ自動車3台を更新した。(第2・3・7分団)
9. 7 第7分団詰所を新築した。(山下町)
45. 4. 1 消防本部の定員を110名とした。
4. 20 指令車を更新した。
7. 14 本部車を新規に配置した。(キンカ堂から寄付受入)
9. 8 第19分団詰所を新築した。(松田町)
11. 12 消防ポンプ自動車3台を更新した。(御厨分遣所、第1・15分団)
12. 17 はしご付消防ポンプ自動車を購入した。
46. 4. 1 消防本部の定員を114名とした。
5. 6 第4代消防長に阿部正夫氏が就任した。
7. 17 超短波無線傍受機を分団車20台に装備した。
9. 8 消防ポンプ自動車3台を更新した。
(第8・19(松田)・19(小俣)分団)
47. 3. 31 第9分団詰所を新築した。(名草中町)
4. 1 南分署が開設された。
南分署に救急車1台を配置した。
消防本部の定員を118名とした。
28 救急車1台を増車し署に配置した。
7. 19 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。
消防ポンプ自動車2台を更新した。(第13・17分団)
10. 23 救命ボート1台を新規に配置した。(森下孝氏から寄付受入)
12. 26 第17分団詰所を新築した。(小俣財産区から寄付受入)
48. 5. 24 社団法人日本河川協会長から水防功労団体として表彰状を受賞した。
6. 15 アルミックス防火衣118着購入し全職員に貸与した。
7. 5 救急車1台を増車し署に配置した。(栃木県農業共済から寄付受入)
8. 24 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第11・16分団)
11. 20 消防ポンプ自動車1台を更新した。(富田分遣所)

- 昭和 48. 11. 26 アルミックス防火衣 5 7 3 着購入し全団員に貸与した。
 12. 6 超短波無線電話機の周波数を変更した。(150.45MHZ)
 12. 7 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
 12. 22 第 1 4 分団詰所を新築した。(久保田町)
49. 4. 1 消防本部の定員を 1 2 2 名とした。
 5. 4 第 9 代消防団長に長山茂氏が就任した。
 7. 25 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 12・18 分団)
 9. 25 災害通報装置を分団詰所に設置した。
 12. 17 第 1 5 分団詰所を改築した。(福富町)
50. 2. 12 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
 3. 30 坂西分遣所(西分署)庁舎を改築した。(葉鹿町)
 4. 1 西分署が開設された。
 西分署に救急車 1 台を配置した。
 4. 4 救急車 1 台を更新した。(森下孝氏から寄付受入)
 5. 12 広報車を更新した。
 7. 28 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 4・6 分団)
 8. 4 作業車を更新した。(足利信用金庫から寄付受入)
 ホームライトポンプ 1 台を配置した。(足利信用金庫から寄付受入)
 10. 7 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(西分署)
 11. 7 気象観測機器一式を南分署に設置した。
 (足利信用金庫から寄付受入)
 12. 2 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
 12. 23 空気充てん機 1 台を購入した。
 12. 30 伊勢町水防倉庫を大正町に移築した。
51. 4. 1 第 5 代消防長に新藤 貞氏が就任した。
 6. 21 指令車を更新した。(東京海上火災保険(株)から寄付受入)
 8. 30 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 10 分団)
 9. 3 化学消防ポンプ自動車 1 台を更新した。
 11. 5 救急車 1 台(更新)を南分署に配置した。
 (三甲工業(株)から寄付受入)
 11. 29 第 1 6 分団詰所を新築した。(葉鹿町)
 12. 20 桐生市・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合・太田地区消防組
 合・館林地区消防組合・佐野地区広域消防組合と特殊災害消防対策
 相互応援協定締結
52. 1. 18 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
 8. 22 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 14 分団)
 10. 6 救助工作車 1 台を購入し署に配置した。
 12. 1 火災報知機を 2 ヶ年計画で廃止することに決定した。
53. 4. 1 消防本部の定員を 1 2 6 名とした。
 6. 7 第 1 0 代消防団長に岡田光郎氏が就任した。
 7. 19 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(消防署、第 5 分団)
 9. 1 本署管内の火災報知機を廃止した。(受信機 3・発信機 2 2 1)
 10. 22 査察指導車 2 台を配置した。(板橋通商(株)から寄付受入)
 10. 28 第 1 3 分団詰所を新築した。(小曾根町)
54. 4. 1 第 6 代消防長に高橋圀男氏が就任した。
 消防本部の定員を 1 3 0 名とした。
 火災報知機を全廃した。
 9. 4 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 9 分団)

- 昭和 54. 10. 29 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を南分署に配置した。
(日本損害保険協会から寄付受入)
55. 3. 6 救急車 1 台を更新した。(日本自動車工業会から寄付受入)
4. 1 消防本部の定員を 1 3 4 名とした。
6. 16 佐野市・佐野地区広域消防組合・太田地区消防組合・館林地区広域
消防組合と消防相互応援協定締結
10. 4 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 3 分団)
10. 7 消防訓練塔を新築した。
11. 21 防火広報車 1 台を配置した。(日本防火協会から寄付受入)
11. 22 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(消防署)
56. 4. 1 消防本部の定員を 1 3 8 名とした。
4. 18 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(足利市民プラザ)
5. 20 特殊災害消防相互応援協定を県下 1 4 消防本部と締結した。
宇都宮市・栃木地区広域行政事務組合・佐野地区広域消防組合・鹿
沼地区広域行政事務組合・日光地区広域消防組合・今市市・小山市・
芳賀地区広域行政事務組合・大田原地区広域消防組合・塩谷広域行
政組合・黒磯那須消防組合・石橋地区消防組合・藤原町・南那須地
区広域行政事務組合
10. 12 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を山辺分遣所に配置した。
57. 2. 10 日本消防協会から優良消防団として竿頭綬を授与された。
6. 30 本部車を更新した。
10. 8 化学消防ポンプ自動車 1 台(更新)を山辺分遣所に配置した。
(アキレス(株)から寄付受入)
- 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 7 分団)
11. 29 広報車 1 台を更新した。(足利市防火協会から寄付受入)
58. 2. 28 第 1 1 分団詰所を新築した。(里矢場町)
3. 7 救急車 1 台を更新した。(日本損害保険協会から寄付受入)
6. 1 栃木県知事から優良消防団として表彰旗を授与された。
10. 26 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 2 分団)
59. 1. 11 第 1 9 分団(小俣)詰所を新築した。(小俣町)
4. 1 第 7 代消防長に根岸久夫氏が就任した。
4. 21 館林地区消防組合と水防相互応援協定締結
8. 17 バスケット付はしご消防ポンプ自動車(15m級)を配置した。
(消防署)
- 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 1・15 分団)
8. 30 査察指導車 2 台を更新した。(板橋通商(株)から寄付受入)
60. 8. 26 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 8・19(松田)分団)
61. 3. 28 第 5 分団詰所を新築した。(田中町)
6. 19 作業車 1 台を更新した。(消防署)
10. 30 消防ポンプ自動車 3 台を更新した。(消防署、第 13・19(小俣)分団)
- 救急車 1 台を更新した。(南分署)
62. 4. 1 第 8 代消防長に関口好三氏が就任した。
5. 27 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(コムファースト)
6. 4 指令車を更新した。(消防署)
63. 3. 25 化学消防ポンプ自動車 1 台及び消防ポンプ自動車 2 台を更新した。
(消防署、第 11・17 分団)
3. 30 災害通報装置(アンサーバック方式)を更新した。
空気充てん機(Y S-75 型)を更新した。

- 昭和 63. 4. 1 警防課通信指令室を本部通信指令課とした。
7. 15 アルミックス防火衣等 1 3 7 着を購入し、全職員に貸与した。
アルミックス防火衣等 1 9 3 着を購入し、団本部 3 着及び各分団
1 0 着貸与した。
7. 28 携帯無線傍受機 4 1 台を購入し、正副団長及び各分団長・副分団長
へ貸与した。
8. 18 第 1 7 分団に非常用サイレンを設置した。
消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 12・16 分団)
8. 31 超短波無線傍受機 2 0 台 (分団車用) を更新した。
9. 1 テレホンサービス (4 1-0 0 0 0) を開局した。
9. 3 広報連絡車 1 台を購入し署に配置した。
9. 15 消防署車庫排煙設備を設置した。
10. 31 第 1 0 分団詰所を新築した。(駒場町)
- 平成 元. 2. 14 足利市消防団が特別表彰「まとい」を受賞した。
8. 10 広報連絡車 1 台を購入し南分署に配置した。
8. 31 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 4・18 分団)
9. 1 消防緊急情報システムが整備され業務を開始した。(通信指令課)
9. 16 携帯無線傍受機 1 9 台を購入し、各分団の部長へ貸与した。
9. 18 アルミックス防火衣等 1 9 0 着を購入し、各分団 10 着貸与した。
10. 24 化学消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(消防署)
12. 14 第 1 0 分団乾燥塔を新築した。
12. 18 救急車 1 台を更新した。(消防署)
12. 21 査察指導車 2 台を更新した。(榎板橋から寄付受入)
2. 3. 25 第 1 2 分団詰所を新築した。(島田町)
3. 28 防火広報車を更新した。(箕輪雅雄氏から寄付受入)
4. 1 第 9 代消防長に山崎 清氏が就任した。
第 1 1 代消防団長に半田勘次朗氏が就任した。
消防本部の定員を 1 4 2 名とした。
7. 17 広報連絡車 2 台を購入した。(西分署・山辺分遣所)
9. 28 携帯無線傍受機 1 9 台を購入し、各分団の副部長へ貸与した。
9. 29 アルミックス防火衣等 1 9 0 着を購入し、各分団 10 着貸与した。
9. 30 無線機 (車載 2 台・携帯 3 台) を整備した。
11. 5 災害通報用サイレン 2 ヶ所を更新した。(第 14・15 分団)
11. 9 山林火災用可搬式送水装置一式を購入した。(消防署)
11. 14 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 6・10 分団)
12. 20 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(消防署)
3. 2. 19 救急車 1 台を更新した。(日本損害保険協会から寄付受入)
2. 28 消防車両動態表示装置を整備した。
3. 15 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(富田分遣所)
3. 25 第 1 分団詰所を新築した。(緑町 1 丁目)
3. 28 救急車 1 台を更新した。(ハッピー金属工業㈱から寄付受入)
4. 1 消防本部の定員を 1 4 6 名とした。
6. 27 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 5・14 分団)
8. 29 無線機 (車載 3 台・携帯 3 台) を整備した。
8. 30 携帯無線傍受機 6 7 台を購入し、署幹部へ 1 0 台、各分団の班長へ
5 7 台貸与した。
9. 7 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 9 分団)
9. 11 災害通報用サイレン 2 ヶ所を更新した。(第 4・11 分団)

- 平成 3.10.10 救助工作車Ⅱ型（資機材を含む）1台を更新した。（消防署）
 10.31 指令電送装置を整備した。
 11.30 桐生市と消防相互応援協定締結
 12.24 はしご付消防自動車（30m級）1台を更新した。（消防署）
 4. 3. 6 第8分団詰所を新築した。（利保町）
 4. 1 消防本部・署の組織改革に伴い、本部総務課に防災係を新設、消防署に係制度を導入した。
 河川情報システムが市河川課より移管された。（防災係）
 7.20 潜水器具2組を整備した。（消防署）
 8.10 査察車1台を更新した。（予防課）
 8.21 救命用ゴムボート2艇を配置した。（アキレス㈱から寄付受入）
 9.30 消防無線機に全国波を整備した。
 10.30 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新した。（消防署）
 11.10 防火広報車1台を更新した。（足利市防火協会から寄付受入）
 12.15 指揮車1台を更新した。（予防課）
 5. 4. 1 第10代消防長に須齋良一氏が就任した。
 消防本部の職員定数を157名とした。
 8.19 デジタル警報地震計1台を設置した。（通信指令課）
 9.20 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。（足利工業大学）
 9.30 災害通報用サイレン2ヶ所を更新した。（第2・13分団）
 12.13 消防ポンプ自動車1台を更新した。（第3分団）
 12.24 第14分団詰所を新築した。（久保田町）
 6. 4. 1 消防本部の職員定数を162名とした。
 消防団の組織を団長1・副団長3・分団長19・副分団長19・部長19・副部長19・班長57・団員437名の574名とした。
 11. 4 消防ポンプ自動車2台を更新した。（第2・7分団）
 11.28 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。（山辺分遣所）
 12. 6 高規格救急自動車1台を購入した。（消防署）
 12.27 ファクシミリ電話機を各分団詰所に設置した。
 第18分団詰所を新築した。（松田町）
 7. 1.30 消防ポンプ自動車1台を更新した。（第1分団）
 10. 5 市内6ヶ所に防災倉庫を設置し、防災資機材を整備した。
 10. 6 防災用携帯電話19台を市幹部職員に配備した。
 11.24 消防ポンプ自動車3台を更新した。（第8・15・19（松田）分団）
 12.27 第19分団（松田）詰所を新築した。（松田町）
 8. 3.18 耐震性貯水槽（100m³）をJR足利駅前に設置した。
 10.29 災害救援車（トイレカー）を購入した。
 12. 4 消防ポンプ自動車4台を更新した。（第11・13・17・19（小俣）分団）
 12.24 富田分遣所を改築した。（駒場町）
 12.26 第6分団詰所を新築した。（五十部町）
 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新した。（富田分遣所）
 9. 2.28 地域防災計画改訂事業の一環として、防災アセスメント調査及び地域別防災カルテを作成した。
 8.19 エアーテント2基を配備した。（アキレス㈱から寄付受入）
 9. 7 足利市総合防災訓練を実施した。
 10.14 携帯無線傍受機89台を更新し、署幹部へ10台、各分団幹部へ79台貸与した。
 11.25 消防ポンプ自動車4台を更新した。（第4・12・16・18分団）

- 平成 9.12.19 第15分団詰所を新築した。(福富町)
10. 3.27 地域防災計画の全面改訂を実施するとともに、防災ガイドマップを作成した。
4. 1 第11代消防長に寺田豊治氏が就任した。
- 10.24 携帯119番通報受付転送装置を設置した。
- 11.30 消防団旗を更新した。
- 12.15 第2分団詰所を新築した。(助戸3丁目)
11. 3.10 消防職員用防火衣一式を更新した。
- 3.30 河南消防署建設に伴う実施設計が完了した。
4. 1 第12代消防長に小島輝松氏が就任した。
- 8.10 軽可搬ポンプ1台が交付された。
(足利市婦人消防隊全国大会出場につき日本消防協会より交付)
- 8.29 栃木県・足利市総合防災訓練・両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(伊勢町渡良瀬運動場)
- 9.30 消防団員用防火衣一式574着を更新した。
- 12.14 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。(西分署)
12. 2.15 県防災行政ネットワークシステムを整備した。(市役所)
- 3.14 第3分団詰所を新築した。(八柵町)
4. 1 第13代消防長に倉沼静雄氏が就任した。
消防本部の職員定数を170名とした。
- 7.28 作業車1台を更新した。(消防署)
- 8.30 消防無線市波にトーンスケルチ装置を付加した。
- 10.31 河南消防署庁舎を新築した。(1,979.0 m²)
12. 8 指令車1台を更新した。(消防署)
- 12.25 消防無線機に全国波第2・第3波を整備した。
- 12.27 高規格救急自動車1台を購入し、河南消防署に配置した。
13. 2.28 第17分団詰所を新築した。(小俣町)
4. 1 第14代消防長に都筑三十四氏が就任した。
河南消防署が開設された。
10. 5 広報連絡車1台を更新した。(富田分遣所)
12. 7 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。(中央消防署)
14. 3. 5 第4分団詰所を新築した。(八幡町3丁目)
- 3.12 高規格救急自動車1台を更新した。(西分署)
- 3.26 河南消防署訓練塔が完成した。
- 12.31 無線サイレン吹鳴装置一式を更新した。(通信指令課、消防団詰所)
15. 1.20 消防ポンプ自動車1台を更新した。(中央消防署)
2. 7 日本消防協会から優良消防団として表彰旗が授与された。
- 3.26 広報連絡車1台を更新した。(中央消防署)
- 7.23 高規格救急車1台を更新した。(南分署)
16. 4. 1 第15代消防長に山本竹男氏が就任した。
第12代消防団長に橋本日出夫氏が就任した。
- 10.25 新潟県中越地震に伴う緊急消防援助隊派遣 (マグニチュード6.8)
新潟県 10.25 ~ 10.28 救助部隊 10名
17. 1.27 高規格救急自動車1台を購入した。(東分署)
- 2.28 東分署を新築した。(644.90 m²)
- 3.31 高規格救急自動車1台を更新した。(中央消防署)
4. 1 消防本部の職員定数を180名とした。
東分署が開設された。

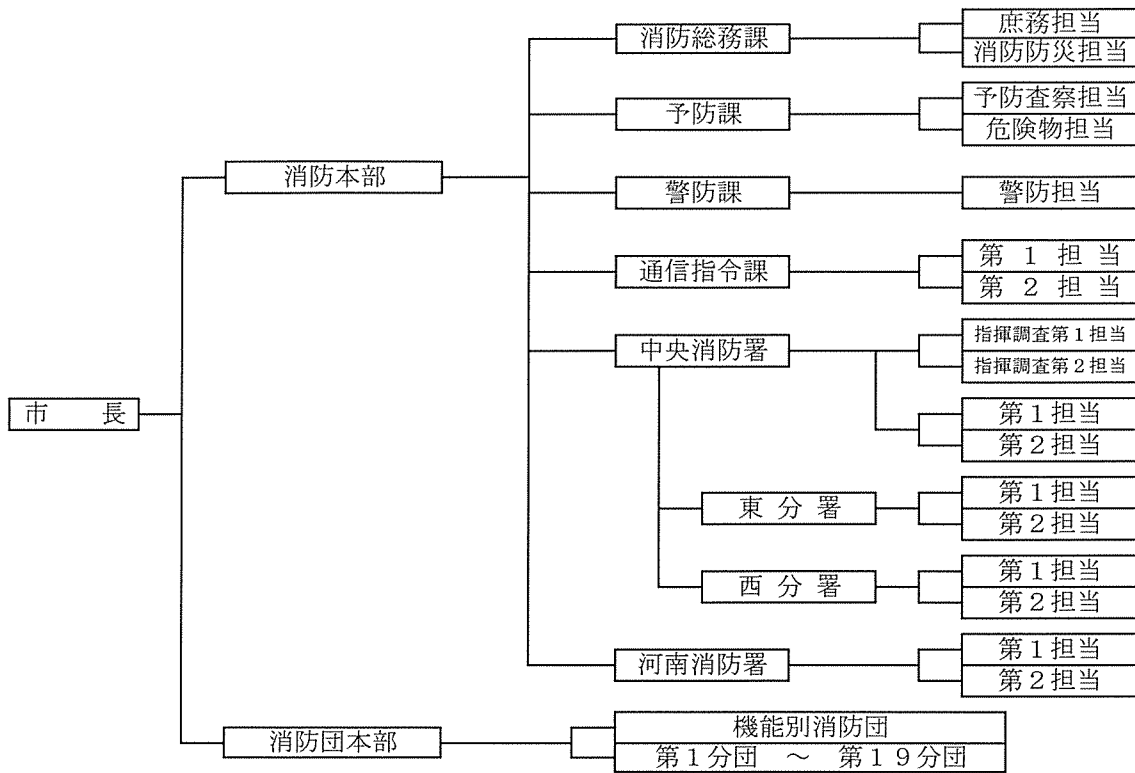
- 平成 17. 9. 27 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(足利市民プラザ)
12. 20 査察車 1 台を更新した。(予防課)
18. 4. 1 第 16 代消防長に石川郁三氏が就任した。
高機能通信指令システム (II 型) の運用を開始した。
消防・防災情報メール配信を開始した。
19. 3. 9 屈折はしご付消防自動車 (25m 級) 1 台を購入した。(中央消防署)
3. 15 第 7 分団詰所を新築した。(山下町)
3. 30 地域防災計画改訂の一環として、防災アセスメント調査を実施した。
4. 1 第 17 代消防長に村田雅雄氏が就任した。
4. 27 第 13 代消防団長に倉沼静雄氏が就任した。
10. 2 広報連絡車 1 台を更新した。(南分署)
11. 1 救急情報テレホンサービス (病院案内) を開始した。(0284-72-0099)
12. 19 水槽付消防ポンプ自動車を更新した。(南分署)
20. 3. 28 地域防災計画の改訂及び防災マップの作成を実施した。
12. 26 救助工作車 II 型 (資機材を含む) 1 台を更新した。(河南消防署)
21. 4. 1 第 18 代消防長に山崎康次氏が就任した。
8. 24 訓練指導車が交付された。(日本宝くじ協会より交付)
9. 2 消防ポンプ自動車 3 台を更新した。(第 6・10・14 分団)
9. 9 携帯電話等 119 通報位置通知装置を設置した。
9. 17 指揮車 1 台を更新した。(予防課)
10. 16 広報車 2 台を更新した。(西分署・河南消防署)
22. 2. 16 防災広報車が交付された。(日本消防協会より交付)
3. 19 消防職員用防火衣 (上下式) 一式の導入を開始した。
9. 29 広報車 1 台を更新した。(予防課)
23. 3. 11 東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊派遣
(マグニチュード 9.0 / 足利市震度 5 強)
- 岩手県 3. 11 ~ 3. 25 消火部隊 8 隊 38 名
- 福島県 3. 26 ~ 6. 6 救急部隊 10 隊 30 名
4. 1 第 19 代消防長に森田政雄氏が就任した。
消防本部の組織改革に伴い、本部総務課に警防担当を新設、
警防課を廃止した。
24. 2. 14 指揮車 1 台を更新した。(河南消防署)
2. 17 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 5・9 分団)
3. 2 高規格救急自動車 1 台を更新した。(河南消防署)
3. 14 軽可搬ポンプ 1 台が交付された。
(足利市女性消防隊が全国女性消防操法大会 (H25. 10. 17) 出場に
つき日本消防協会より交付)
3. 26 第 9 分団詰所を新築した。(名草中町)
10. 3 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(足利赤十字病院)
11. 19 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 2・3 分団)
25. 2. 22 資機材運搬車が総務省消防庁の無償使用制度により配備された。
3. 6 消防ポンプ付水槽車 (10 t) 1 台を購入した。(中央消防署)
4. 1 組織改正に伴い、総務課防災担当を総務課消防防災担当に名称変更し
た。
9. 1 栃木県足利市総合防災訓練を実施した。(伊勢町渡良瀬運動場)
26. 3. 20 中央消防署西分署が移転完成した。(729. 45 m²)
4. 1 第 20 代消防長に室岡茂夫氏が就任した。
第 14 代消防団長に田米開久男氏が就任した。

- 平成 26. 4. 1 組織改正に伴い、総務課を消防総務課に名称変更した。
新西分署の運用が開始された。
12. 4 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 7 分団)
27. 2. 9 化学消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(河南消防署)
3. 6 消防本部・団が消防庁長官から竿頭綬を授与された。
4. 1 高機能消防指令センターを改修した。
12. 7 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 1 分団)
28. 2. 24 高規格救急自動車 1 台を更新した。(西分署)
3. 7 消防救急デジタル無線 (活動波・無線サイレン吹鳴装置) 一式を更新した。
西分署敷地内に足利消防西局を新設した。
4. 1 共通波 (主運用波 1・統制波 1・統制波 2・統制波 3) の運用を開始した。
消防本部の組織改正に伴い、警防指揮課を新設、本部消防総務課警防担当を廃止した。
5. 20 第 15 代消防団長に山本誠氏が就任した。
9. 12 高規格救急自動車 1 台を更新した。(南分署)
11. 18 消防団員用救助用半長靴の導入を開始した。
11. 25 防災活動車が交付され、本部車を更新した。
(日本消防協会より交付)
29. 3. 17 第 16 分団詰所を新築した。(葉鹿町)
4. 1 第 21 代消防長に町田旭氏が就任した。
6. 15 栃木県知事から、消防水防功労団体として足利市消防団が表彰された。
9. 13 高規格救急自動車 1 台を更新した。(中央消防署)
10. 27 消防団員用防火衣 (コート型) 一式の導入を開始した。
11. 1 足利市学生消防団活動認証制度を導入した。
11. 14 第 39 回両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(南分署)
11. 28 防災学習・災害活動車が交付され、中央広報車を更新した。
(日本消防協会より交付)
30. 2. 28 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(東分署)
4. 1 第 16 代消防団長に小宮文雄氏が就任した。
10. 11 高規格救急自動車 1 台を更新した。(東分署)
31. 4. 1 機能別消防団員制度を導入し、37 名の機能別消防団員が任命された。
- 令和 元. 5. 18 利根川水系連合・総合水防演習を実施した。
(五十部町地先渡良瀬左岸)
8. 8 消防本部庁舎建設に伴う基本・実施設計が完了した。
2. 3. 9 消防庁長官から、防災功労者として足利市消防団が表彰された。
4. 1 第 22 代消防長に大美賀裕氏が就任した。
10. 27 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 2 分団・第 10 分団)
3. 2. 21 西宮林野火災において緊急消防援助隊受援した。
(被害面積 167ha、鎮火 3. 15、受援期間 2. 25~3. 3)
3. 10 消防本部・中央消防署庁舎を新築した。(2, 338. 05 m²)
3. 27 高機能消防指令センターを改修した。
4. 1 第 23 代消防長に阿部正敏氏が就任した。
組織改正に伴い、予防課予防担当を予防課予防査察担当に、予防課保安担当を予防課危険物担当に名称変更した。
新消防本部・中央消防署庁舎の運用が開始された。

- 令和 4. 2. 1 Net 119の運用を開始した。
2. 15 河南消防署東側車庫が完成した。
2. 28 化学消防ポンプ自動車(I型)1台を更新した。(西分署)
3. 22 消防署活系無線機95台を購入し、運用を開始した。
3. 25 令和3年2月21日に発生した西宮山林火災の教訓から、足利市の美しい山林を火災から守る条例が制定された。
3. 31 組織改正に伴い、南分署を廃止した。
4. 1 第24代消防長に柏瀬正氏が就任した。
第17代消防団長に樋口泰正氏が就任した。
組織改正に伴い、警防指揮課を警防課に名称変更し、指揮調査第1担当及び同第2担当を中央消防署へ配置変更した。
8. 5 消防職員用防火衣一式購入に係る公募型プロポーザルにより、優先交渉権者を決定した。
- 令和 5. 1. 6 消防本部・中央消防署付帯施設が完成した。
3. 20 第13分団詰所を新築した。(小曾根町)
3. 27 高規格救急自動車1台を更新した。(河南消防署)

総務編

消 防 組 織



消 防 職 員 配 置 状 況

(5. 4. 1現在) (人)

		消 防 吏 員							事務職員	計	
		消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士			
定 員		階 級 別 に よ る 定 員 区 分 な し								180	
実 員		1	5	22	62	51	18	16	2	177	
消 防 本 部	消 防 長	1								1	
	消 防 次 長		1							1	
	消防総務課	庶務担当				3	1				9
		消防防災担当			1	1	1		1	1	
	予防課	予防査察担当		(1)	1	4	2				10
		危険物担当			1	1	1				
	警防課	警防担当		1	1	2	1				5
通信指令課	第 1 担 当		1	1	3	1				12	
	第 2 担 当			1	3	1					
消 防 署	中央消防署	署 長	1							60	
		指揮調査第1担当			1	3					
		指揮調査第2担当			1	3					
		第 1 担 当			2	8	1	7	4		4
	第 2 担 当			2	8		7	5	3		
	東分署	第 1 担 当		1	1	3	4	1	1		21
		第 2 担 当			1	3	4	1	1		
	西分署	第 1 担 当		1	1	3	4	2			21
		第 2 担 当			1	3	4	1	1		
	河南消防署	署 長		1							37
第 1 担 当				2	5	6	2	3			
第 2 担 当				2	5	6	2	3			

※予防課長の職は次長兼務

消 防 職 員 年 齡 表

(5. 4. 1 現在) (人)

階級別 年 齡	總 數	消 防 吏 員							事務職員
		消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	
總 數	177	1	5	22	62	51	18	16	2
18歲	1							1	
19 "	2							2	
20 "									
21 "									
22 "	4							4	
23 "	5							5	
24 "	3							3	
25 "	2						2		
26 "	4						3	1	
27 "	3						3		
28 "	2						2		
29 "	4						4		
30 "	6					2	4		
31 "	3					3			
32 "	8					8			
33 "	5					5			
34 "	5					5			
35 "	3					3			
36 "	4					4			
37 "	7					7			
38 "	7					7			
39 "	6				3	3			
40 "	3					3			
41 "	4				4				
42 "	8				7				1
43 "	10				9	1			
44 "	2				2				
45 "	6				6				
46 "	6				6				
47 "	3				3				
48 "	7			1	6				
49 "	4				4				
50 "	7			2	5				
51 "	5			2	3				
52 "	5			4	1				
53 "	3			3					
54 "	3			2	1				
55 "	2		1	1					
56 "	4			4					
57 "	4		1	1	1				1
58 "	4	1	2		1				
59 "	3		1	2					
平均年齡 (歲)	40.2	58.0	57.4	53.6	45.9	35.3	27.8	22.3	49.5

消 防 職 員 在 職 年 数 表

(5. 4. 1現在) (人)

階級別 在職年数	総数	消 防 吏 員							事務職員
		消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	
総数	177	1	5	22	62	51	18	16	2
0～4年	18							16	2
5～9年	20					3	17		
10～14年	21					20	1		
15～19年	31				10	21			
20～24年	34				27	7			
25～29年	20		1	7	12				
30～34年	21	1		8	12				
35年以上	12		4	7	1				
平均在職年数(年)	19.08	34.00	35.80	32.59	24.44	15.20	7.61	1.25	

市総予算と消防予算 (一般会計)

(単位：千円)

区 分 年 度	市 総 予 算		消 防 予 算		構 成 比 (%)	
	当初予算	決算額	当初予算	決算額	当 初	決 算
平成26年度	51,700,000	51,811,181	1,627,920	1,649,645	3.15	3.18
平成27年度	51,800,000	51,781,872	1,899,844	1,874,874	3.67	3.62
平成28年度	52,700,000	51,450,738	1,635,656	1,591,004	3.10	3.09
平成29年度	52,600,000	52,182,709	1,618,592	1,623,327	3.08	3.11
平成30年度	52,700,000	52,513,897	1,639,513	1,638,159	3.11	3.12
令和元年度	52,900,000	53,172,552	1,901,315	1,799,315	3.59	3.38
令和2年度	53,800,000	69,621,230	2,816,974	2,730,310	5.24	3.92
令和3年度	51,600,000	56,530,138	1,774,331	1,789,518	3.44	3.17
令和4年度	53,700,000	54,478,619	2,084,417	2,026,260	3.88	3.72
令和5年度	53,700,000		1,858,807		3.46	

消防庁舎の現況

消防署

(5. 4. 1 現在)

区分 名称	所在地	構造	棟数	建築面積 (㎡) (延べ面積)	敷地面積 (㎡)	建築年月日
消防本部 中央消防署 主訓練塔 副訓練塔 倉庫棟 車庫棟 危険物庫 駐輪場	大正町863	鉄筋コンクリート造2階建	1	1,516.34 (2,338.05)	4,925.90	R3. 3. 10
		鉄筋コンクリート造6階建	1	402.00		R5. 1. 6
		鉄骨造2階建	1	49.50		
		鉄骨造平屋建	1	211.50		
		鉄骨造平屋建	1	300.00		
		鉄筋コンクリート造平屋建	1	10.00		
		アルミ製	1	9.07		
東分署	川崎町1324	鉄骨造平家建	1	644.90	2,385.78	H17. 2. 28
西分署	葉鹿町2-3-2	鉄骨造平家建	1	729.45 (716.70)	3,492.24	H26. 3. 4
河南消防署 訓練塔 東側車庫	堀込町190-1	鉄骨鉄筋コンクリート造 3階建・免震構造	1	976.00 (1,979.00)	2,060.26	H12. 10. 31
		主塔-鉄骨造6階建 補助塔-鉄骨造1階建	1 1	398.40 25.00		H14. 3. 26
	堀込町182-2	鉄骨造平屋建	1	54.60	1,680.28	R4. 2. 15

水防倉庫

(5. 4. 1 現在)

区分 名称	所在地	構造	棟数	建築面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	建築年月日
寺岡水防倉庫 57号	寺岡町旗川堤防	木造セメント瓦葺平家建	1	33.00	33.00	S29. 10. 19
福富水防倉庫	福富町渡良瀬川堤防	鉄骨造平家建	1	33.12	33.12	S60. 3. 12
奥戸水防倉庫 84号	奥戸町旗川堤防	鉄骨造波型鉄板葺平家建	1	40.00	40.00	S41. 8. 31
葉鹿町水防倉庫	葉鹿町647-1	鉄骨ルーフデッキ葺平家建	1	36.44	36.44	S58. 11. 1

防災倉庫 (危機管理課所管)

(5. 4. 1 現在)

区分 設置場所	所在地	構造	棟数	備蓄品	設置年月日	
総合運動場	西砂原後町1193	アルミニウム合金製 (W6m×D2.4m×H2.35m) ソーラー換気扇付	1	・アルファ米 ・救命ロープ	H7. 12. 25	
けやき小学校	柳原町861		1	・ミネラルウォーター ・一輪車		
葉鹿小学校	葉鹿町1丁目14-2		1	・ドライミルク ・救急医療セット		
山辺小学校	八幡町386		1	・発電機 ・防水シート		
毛野中学校	八柵町27		1	・投光器 ・毛布		
北郷小学校	田島町1		1	・コードリール ・リヤカー		
協和中学校	百頭町160		1	・燃料タンク ・テント		H26. 3. 13
筑波小学校	小曾根町517		1	・トランシーバー ・ウォーターバルーン		H26. 10. 23
富田中学校	駒場町359		1	・チェンソー ・ポリバケツ ・ハンドマイク ・非常放き出しレンジ		
五十部水防センター	五十部町284-1番地先	鉄骨造2階建	1	・拒架 ・簡易トイレ ・アルファ米・ミネラルウォーター他	R3. 3. 2 H24. 12. 27	

令和4(2022)年度主要事業

1 消防施設等整備事業

(1) 消防本部庁舎等建設事業費

(円)

工事名等	施工地	請負業者 (委託業者)	事業費	事業内容	完成 年月日
付帯施設建設工事 (建築工事)	大正町	岩澤建設(株)	278,850,000	主訓練塔 鉄筋コンクリート造 402.00㎡外	5.1.6
付帯施設建設工事 (電気設備工事)	大正町	戸塚電工(株)	35,123,000	付帯施設建設工事に 伴う電気設備工事	5.1.6
付帯施設建設工事 (機械設備工事)	大正町	(株)島田商事	4,378,000	付帯施設建設工事に 伴う機械設備工事	5.1.6
電話設備設置業務委託等	大正町	両毛通信(株) 外2社	1,070,300	付帯施設建設工事に 伴う電話設備設置業 務外	5.3.15
備品購入費等	大正町	(有)堤家具デパ ート外10社	4,933,511	中量棚10台外	5.3.15
合計			事業費計 324,354,811	財源内訳 市債 317,300,000 一般 7,054,811	

(2) 分団詰所建設事業費

(円)

工事名等	施工地	請負業者 (委託業者)	事業費	事業内容	完成 年月日
アスベスト含有 調査業務委託	小曾根町	(株)環境生物化 学研究所	205,700	旧第13分団詰所解体 に伴う調査業務委託	4.6.13
第13分団詰所建設工事 (建築工事)	小曾根町	(株)岡ノ谷組	38,115,000	鉄骨造 平屋建 95.95㎡	5.3.20
第13分団詰所建設工事 (電気設備工事)	小曾根町	(株)協立電気工 業所	5,610,000	第13分団詰所建設に 伴う電気設備工事	5.3.20
第13分団詰所建設工事 (機械設備工事)	小曾根町	(有)樋口製作所	5,027,000	第13分団詰所建設に 伴う機械設備工事	5.3.20
備品購入費等	小曾根町	長商店外7社	539,844	長テーブル5台外	5.3.23
合計			事業費計 49,497,544	財源内訳 市債 48,700,000 一般 797,544	

2 消防器具整備事業（その他：臨時）

(円)

整備事業名	配置場所	請負業者	事業費	事業内容	完成年月日
消防器具整備	消防団	㈱板通	920,018	消防用ホース 31本	5.1.20
合計			事業費計 920,018	財源内訳 諸 900,000 一般 20,018	

3 消防施設整備事業

(円)

工事又は 整備事業 は名	施工位置 又は 配置場所	請負業者	事業費	事業内容	完成年月日
消防器具整備	消防本部	桜ホース㈱ 大田原営業所 外16社	6,375,792	ガス測定器1個外	5.3.28
消防器具整備費 (林野火災対応用等 器具整備)	消防本部	栃木県消防整 備㈱ 外2社	2,788,753	ホース口径変換資機 材4個外	5.2.3
消火栓整備事業費 負担金	市内全域	足利市水道事 業 外3社	11,264,000	移設 5基 改修 7基 撤去 1基	5.3.8
防火水槽整備等 事業費	市内全域	新道路企画(有)	346,500	消火栓標示塗装 業務委託	5.2.28
合計			事業費計 20,775,045	財源内訳 一般 17,986,292 繰越 2,788,753	

4 新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金事業

(円)

事業名	配置場所	請負業者	事業費	事業内容	完成年月日
消防・救急活動 感染防止対策事業費	消防本部	栃木県消防 整備(株) 外15社	12,114,093	感染症患者搬送装置 1台外	5.3.31
高規格救急自動車 購入費	消防本部	栃木トヨタ 自動車(株)	42,917,190	高規格救急自動車 1台	5.3.27
合計			事業費計 55,031,283	財源内訳 国 54,500,000 繰入 321,000 一般 210,283	

予

防

編

指定防火対象物数

(5. 4. 1 現在)

用 途		指定防火対象物数 (棟数)	防火管理者選任義務 対象物数
1	イ	劇場、映画館、観覧場等	3
	ロ	公会堂、集会場	69
2	イ	キャバレー、カフェー等	3
	ロ	遊技場、ダンスホール	14
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	2
	ニ	カラオケボックス等	2
3	イ	待合、料理店等	9
	ロ	飲食店	138
4		百貨店、物品販売店舗等	209
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	190
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	698
6	イ	(1) 特定病院	8
		(2) 特定診療所	2
		(3) 非特定医療機関（有床系）	17
		(4) 非特定医療機関（無床系）	63
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	94
		(2) 救護施設	
		(3) 乳児院	
		(4) 障害児入所施設	
		(5) 障害者支援施設等	33
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	42
		(2) 更生施設	
		(3) 助産施設、保育所等	46
		(4) 児童発達支援センター等	3
		(5) 身体障害者福祉センター等	70
ニ	幼稚園、特別支援学校	13	
7		学校、各種学校等	203
8		図書館、美術館等	18
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	
	ロ	一般公衆浴場等	2
10		停車場等	1
11		神社、寺院、教会等	50
12	イ	工場、作業場等	787
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫、駐車場	30
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14		倉庫	389
15		前各項に該当しない事業場	405
16	イ	複合用途（特定）	303
	ロ	複合用途（その他）	82
16の2		地下街	
17		重要文化財等	42
合 計			4,040
			1,398

建築物同意事務処理状況

(4. 4. 1～5. 3. 31)

区分 月別	受付件数	工 事 種 別			処 理 件 数		
		新築	増改築	その他	同意	条件付同意	不同意
4月	12	11	1	0	12		
5月	13	13	0	0	13		
6月	13	11	1	1	13		
7月	15	13	0	2	15		
8月	11	8	2	1	11		
9月	13	13	0	0	13		
10月	15	14	1	0	15		
11月	12	11	1	0	12		
12月	15	14	1	0	15		
1月	5	5	0	0	5		
2月	11	10	1	0	11		
3月	15	13	2	0	15		
計	150	136	10	4	150		
令和3年度	151	131	4	16	151		

消防用設備等検査数

(4. 4. 1～5. 3. 31)

種 別		実施数	計
消 火 設 備	消 火 器	38	54
	屋 内 消 火 栓 設 備	8	
	屋 外 消 火 栓 設 備	3	
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	5	
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	89	100
	非 常 警 報 設 備	11	
	漏 電 火 災 警 報 器	0	
避 難 設 備	避 難 器 具	25	73
	誘 導 灯	48	
計			227

中高層(4階以上) 建物の現況

(5.4.1現在)

防火対象物の別 階層	公会堂等	料理店等	店舗	旅館、ホテル	共同住宅	病院	福祉施設	学校等	美術館等	工場	駐車場等	倉庫	事務所等	複合用途	専用住宅	用途なし	計
4階	3	1	3	2	49	4	3	16	1	8		2	18	36	1	10	157
5階		2	1	1	75	4		3	1	1	1		7	21		3	120
6階				1	13		1	2					2	11			30
7階				1	12		1	1		1				10			26
8階					4			3					1	1			9
9階				1	3	1		1						4			10
10階				2	5									1			8
11階					7									3			10
12階					2									1			3
13階					2												2
14階					2												2
15階					1												1
計	3	3	4	8	175	9	5	26	2	10	1	2	28	88	1	13	378

*中高層建物の分布状況 河北地区242カ所・河南地区136カ所

危険物施設の現況

(5.4.1現在)

種別	施設数	種別	施設数
製造所	10	給油取扱所(営業用)	32
屋内貯蔵所	90	給油取扱所(自家用)	38
屋外タンク貯蔵所	51	第1種販売取扱所	2
屋内タンク貯蔵所	8	第2種販売取扱所	
地下タンク貯蔵所	72	移送取扱所	
簡易タンク貯蔵所		一般取扱所	80
移動タンク貯蔵所	39	計	451
屋外貯蔵所	29		

貯蔵取扱倍数別危険物施設数

(5. 4. 1現在)

施設別 倍数別	総 数	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所						
			小 計	屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	小 計	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送	一 般
5倍以下	162	1	122	41	9	5	30		33	4	39	9	1			29
5倍を超え10倍以下	124	6	81	23	19	3	17		1	18	37	8				29
10倍を超え50倍以下	115	2	72	22	22		19		2	7	41	19	1			21
50倍を超え100倍以下	14		7		1		3		3		7	6				1
100倍を超え150倍以下	11		5	2			3				6	6				
150倍を超え200倍以下	7		2	2							5	5				
200倍を超え1,000倍以下	18	1									17	17				
1,000倍を超え5,000倍以下																
5,000倍を超え10,000倍以下																
10,000倍を超えるもの																
合 計	451	10	289	90	51	8	72		39	29	152	70	2			80

各種申請届出等事務処理状況

(4. 4. 1～5. 3. 31)

区 分		件数	区 分		件数
消防法に基づくもの (危政令関係)	危険物製造所等設置許可申請	7	火災予防条例に基づくもの	燃料電池発電設備設置届出	
	危険物製造所等変更許可申請	41		変電設備設置届出	45
	危険物製造所等完成検査前検査申請	19		急速充電設備届出	2
	危険物製造所等完成検査申請	49		発電設備設置届出	7
	危険物製造所等仮使用承認申請	32		蓄電池設備設置届出	8
	危険物製造所等譲渡引渡届出	1		制限行為の解除承認申請	
	危険物製造所等種類数量変更届出	3		水素ガスを充てんする気球の設置届	
	危険物製造所等廃止届出	13		昇 煙 届 出	87
	危険物仮貯蔵(仮取扱)承認申請	1		煙火打上(仕掛)届出	26
	危険物保安監督者選任(解任)届出	41		催物開催届出	7
	予防規程制定(変更)認可申請	14		水道断(減)水届出	3
	資料提出及びその他の届出	99		道路工事届出	457
	〃 (施行令関係)	消防計画届出		332	その他の法令等に基づくもの
防火管理者選任(解任)届出		233	指定可燃物貯蔵取扱(廃止)届出	54	
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱(廃止)届出		74	露店等の開設届出	93	
消防用設備等設置届出		275	その他の申請及び届出		
消防用設備等着工届出		87	危険物製造所等の休止届出		
消防用設備等点検結果報告		1,487	危険物設置者氏名その他変更届出	28	
火災予防条例に基づくもの	裸火等使用許可申請	50	危険物災害事故発生報告		
	防火対象物使用開始届出	99	許可証等再交付申請		
	火を使用する 設備等設置届出	炉	3	液化石油ガス意見書交付申請	
		かまど		液化石油ガス設備工事届出	4
		ボイラー	14	煙火消費許可申請	2
		放電加工機		高圧ガス関係各種届出	
		温風暖房機	2	旅館等意見書交付申請	
		ヒートポンプ		消防水利に関する事前協議申請	8
		厨房設備		諸 証 明 願	30
	その他	17	計	3,889	

消防広報等実施状況

防火広報

(4. 4. 1～5. 3. 31)

区 分	方 法	対 象	回 数	備 考
車 両 広 報	広報車・消防車	一般市民	211	市内全域
	分団消防車	〃	619	各分団管轄区域
文 書 広 報	あしかがみ	〃	13	全戸配布
	機関誌「火災」	防火協会員	3	全会員事業所
	防火チラシ	一般市民	1	全戸配布

防火座談会

(4. 4. 1～5. 3. 31)

区 分	対 象				計
	一般市民	工場事業所等	自主防災組織	女性防火クラブ	
回	2				2
延 人 員	110				110

防火防災指導

(4. 4. 1～5. 3. 31)

区 分	防 火 対 象 物										そ の 他			計
	小 学 校	中 学 校	高 各 種 学 校	病 院	店 舗	工 事 場 所	幼 稚 園	保 育 所	福 祉 施 設	旅 ホ テ ル	複 合 用 途	自 災 主 組 織	女 性 防 火 ク ラ ブ	
回	7	5	3	11	8	20	20	44	3	24	5	3		153
延人員	1,214	1,114	975	524	168	2,194	2,129	1,561	17	824	274	57		11,051

見 学

(4. 4. 1～5. 3. 31)

区 分	対 象				計	
	幼稚園	保育所	小学校	一般		
庁舎見学	回	7	19	16	3	45
	延人員	397	393	818	57	1,665

各種防火団体

1 足利市防火協会

(1) 会の目的

会員相互の融和を図り、防火及び自衛消防の進展を期するとともに、一般の防火防災に寄与することを目的とする。(会則第2条)

(2) 加入事業所

事業所

(5. 4. 1 現在)

部会別	第1部会	官公庁・事業所	234事業所
	第2部会	工場	168事業所
	第3部会	危険物・高圧ガス施設	45事業所
	第4部会	旅館・店舗・サービス業	58事業所
計			505事業所

(3) 結成年月日

昭和37年7月25日

(4) 事業

- ア 防火講習会(研修会)の開催
- イ 各種防火運動への協力
- ウ 機関誌「火災」発行配布
- エ 優良事業所従業員表彰
- オ 優良事業所の視察
- カ 防火ポスター・チラシの配布
- キ 防火標語の募集
- ク その他

2 女性防火クラブ（昭和39年結成、16クラブ、9,703名）

(1) 連合会

名 称	クラブ数	会長	副会長	幹事
足利市女性防火クラブ連絡協議会	16	1	2	3

(2) 単位クラブ

(5.4.1現在)

ク ラ ブ 名	クラブ員数	ク ラ ブ 名	クラブ員数
久野地区クラブ	608	島田町クラブ	400
名草下町 "	250	上渋垂町 "	852
福居栄町 "	370	朝倉町2丁目 "	454
名草中町 "	189	堀込町2丁目 "	1,051
福居八木町 "	321	葉鹿町熊野 "	643
福居南町 "	375	田島町 "	388
福居中里町 "	709	堀込町1丁目 "	878
百頭町 "	644	梁田地区 "	1,571
計	16クラブ		9,703名

3 少年消防クラブ（昭和33年結成、33クラブ、653名）

(1) 連合会

名 称	クラブ数	委員長	副委員長	委員
足利市少年消防クラブ推進委員会	33	1	2	30

(2-1) 単位クラブ（中学校）

(5.4.1現在)

ク ラ ブ 名	クラブ員数	ク ラ ブ 名	クラブ員数
第一中学校クラブ	19	西中学校クラブ	32
第二中学校 "	14	山辺中学校 "	45
第三中学校 "	41	坂西中学校 "	29
毛野中学校 "	22	協和中学校 "	31
富田中学校 "	11	愛宕台中学校 "	12
北中学校 "	23		
計	11クラブ		279名

(2-2) 単位クラブ（小学校）

(5.4.1現在)

ク ラ ブ 名	クラブ員数	ク ラ ブ 名	クラブ員数
けやき小学校クラブ	12	山辺小学校クラブ	12
青葉小学校 "	38	南小学校 "	24
東山小学校 "	8	三重小学校 "	131
桜小学校 "	8	山前小学校 "	12
毛野小学校 "	0	北郷小学校 "	12
毛野南小学校 "	9	大月小学校 "	4

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数
名 草 小 学 校 クラブ	10	筑 波 小 学 校 クラブ	6
富 田 小 学 校 "	6	御 厨 小 学 校 "	17
矢 場 川 小 学 校 "	7	坂 西 北 小 学 校 "	10
梁 田 小 学 校 "	14	葉 鹿 小 学 校 "	16
久 野 小 学 校 "	6	小 俣 小 学 校 "	12
計	22クラブ		374名

4 幼年消防クラブ（昭和57年結成、36クラブ、3,329名）

(1) 公立保育所

(5.4.1現在)

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数
大 町 保 育 所 クラブ	32	き た 保 育 所 クラブ	47
羽 刈 保 育 所 "	59	三 重 保 育 所 "	23
山 川 保 育 所 "	70	わ た ら せ 保 育 所 "	37
梁 田 保 育 所 "	74	に し 保 育 所 "	59
み な み 保 育 所 "	59		
計	9クラブ		460名

(2) 民間保育園

(5.4.1現在)

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数
小 俣 幼 児 生 活 団 クラブ	78	わ か ば 保 育 園 クラブ	96
常 念 寺 保 育 園 "	74	し ん ま ち 保 育 園 "	73
ル ン ビ ニ 保 育 園 "	83	天 王 保 育 園 "	157
足 利 本 城 保 育 園 "	58	ポ ッ ポ 保 育 園 "	67
龍 泉 寺 保 育 園 "	140	ふ く い 保 育 園 "	118
計	10クラブ		944名

(3) 認定こども園

(5.4.1現在)

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数
足 利 幼 稚 園 クラブ	135	足 利 め ぐ み 幼 稚 園 クラブ	96
友 愛 幼 稚 園 "	49	旭 幼 稚 園 "	126
花 園 幼 稚 園 "	143	足 利 い ず み 幼 稚 園 "	147
足 利 し ら ゆ り 幼 稚 園 "	246	両 野 こ ど も 園 "	221
足 利 こ ぼ と 幼 稚 園 "	142	東 光 寺 幼 稚 園 "	148
矢 場 川 幼 稚 園 "	80	や ま ま え 保 育 園 "	107
計	12クラブ		1,640名

(4) 新制度幼稚園

(5.4.1現在)

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数
足 利 み ど り 幼 稚 園 クラブ	11	山 辺 幼 稚 園 クラブ	44
計	2クラブ		55名

(5) 私学幼稚園

(5. 4. 1 現在)

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数
足利くるみ幼稚園 クラブ	131	足利短期大学附属幼稚園 クラブ	76
足利さくら幼稚園 〃	23		
計	3クラブ		230名

警

防

編

消防車両の配置状況

(1) 消防本部

(6台)

(5. 4. 1現在)

車別	区分	車名	型式	年式	出力(kW)	登録番号	規格	登録年月日
本部車		三菱	DBA-CV5W	2016	125	とちぎ800さ8763		H28. 11. 21
訓練指導車		マツダ	ABF-SYE4T	2009	74	とちぎ100す 928		H21. 8. 21
予防1号車		ホンダ	DBE-GJ3	2010	66	とちぎ800さ6518		H22. 9. 10
予防2号車		ニッサン	CBE-VFY11	2005	78	とちぎ800さ4557		H17. 12. 19
警防広報車		ホンダ	DBA-RG1	2005	114	とちぎ500ぬ7596		H17. 7. 22
防災広報車		ホンダ	DBA-RN7	2010	103	とちぎ500ほ7720		H22. 2. 12

(2) 中央消防署

(13台)

指揮1号車		トヨタ	CBF-TRH226K	2009	111	とちぎ800さ6107		H21. 9. 3
指揮2号車		トヨタ	CBF-TRH200K	2012	98	とちぎ800さ6909		H24. 2. 8
水槽車		日野	QDG-FR1APBA改	2013	279	とちぎ830せ2013	水槽車	H25. 2. 28
化学車		日野	KK-FD1JEDA改	2001	220	とちぎ800さ2024	I型	H13. 12. 5
救助工作車		日野	BDG-GX7JGWA改	2008	220	とちぎ830す2008	II型	H20. 12. 9
ポンプ1号車		日野	KK-XZU331M	2003	103	とちぎ800さ2769	CD-I型	H15. 1. 17
ポンプ2号車		日野	KK-FD1JEDA改	1999	162	とちぎ800さ 93	I型	H11. 12. 10
救急1号車		トヨタ	CBF-TRH226S	2017	111	とちぎ830も 119	高規格	H29. 9. 4
救急2号車		トヨタ	CBF-TRH226S	2016	111	とちぎ830さ 373	高規格	H28. 9. 5
救急3号車		トヨタ	TC-VCH38S	2005	132	とちぎ800さ4070	高規格	H17. 1. 25
資機材運搬車		三菱	TKG-FGB70	2013	110	とちぎ800さ7301		H25. 2. 21
広報車		スバル	LE-TV2	2007	36	とちぎ880あ 154		H19. 9. 27
支援車		トヨタ	CBF-TRH226K	2017	111	とちぎ800さ9227		H29. 11. 24

(3) 東分署

(4台)

水槽車		日野	2KG-GX2ABA	2018	177	とちぎ830せ2017	I-B型	H30. 2. 14
ポンプ車		いすゞ	U-NKR58E2N改	1991	88	栃木 88ね3306	CD-I型	H 3. 6. 24
救急車		トヨタ	CBF-TRH226S	2018	111	とちぎ800さ9656	高規格	H30. 10. 5
広報車		スズキ	LE-DA62V	2001	36	とちぎ 80あ 58		H13. 10. 4

(4) 西分署

(4台)

化学車		日野	2KG-GX2ABA	2022	177	とちぎ830す2021	I型	R 4. 2. 28
ポンプ車		三菱	U-FE538B改	1994	96	栃木 88ね7407	CD-I型	H 6. 10. 27
救急車		トヨタ	CBF-TRH226S	2016	111	とちぎ830さ2499	高規格	H28. 2. 15
広報車		ホンダ	GBD-HH6	2009	39	とちぎ880あ 241		H21. 10. 6

(5) 河南消防署

(8台)

化学車		日野	SDG-GX7JGAA改	2014	164	とちぎ830そ2014	I型	H26. 12. 26
水槽車		日野	BDG-GX7JGWA改	2007	162	とちぎ830ぬ 119	I-B型	H19. 12. 17
梯子車		日野	PK-FH2PLJA改	2007	279	とちぎ800は 380	25M屈折	H19. 3. 2
ポンプ車		三菱	U-FE337B改	1993	88	栃木 88ね6218	CD-I型	H 5. 12. 10
救急1号車		トヨタ	3BF-TRH226S	2023	118	とちぎ830み 99	高規格	R 5. 3. 16
救急2号車		トヨタ	CBF-TRH226S	2012	111	とちぎ830せ1199	高規格	H24. 2. 14
作業車		トヨタ	KK-VZU382	2000	96	とちぎ800さ 699		H12. 7. 26
広報車		ホンダ	GBD-HH6	2009	39	とちぎ880あ 240		H21. 10. 6

主な消防機器の配備状況

(5. 4. 1 現在)

種類		計	中央消防署	東分署	西分署	河南消防署
一般救助用具 器	かぎ付はしご	5	3			2
	ワイヤはしご	1	1			
	三連はしご	7	4		1	2
	空気式救助マット	2	2			
	救命索発射銃	2	1			1
	サバイバースリング	3	1			2
	平担架	1	1			
重量物排除用具 器	油圧ジャッキ	2	2			
	油圧スプレッダー	5	3		1	1
	可搬ウインチ	5	2			3
	マンホール救助器具	2	2			
	救助用簡易起重機	1				1
	マット型空気ジャッキ式	4	4			
	大型油圧スプレッダー	2	2			
救助用支柱器具	1	1				
切断用器具	油圧切断機	2	2			
	エンジンカッター	7	3	1	1	2
	ガス溶断機	1	1			
	チェーンソー	3	1	1	1	
	空気鋸	1	1			
	大型油圧切断機	2	2			
	空気切断機	4	2	1	1	
破壊用器具	携帯用コンクリート破壊器具	1	1			
	削岩機（ハンマドリル）	4	4			
検知・測定用具 器	生物剤検知器	1	1			
	可燃性ガス測定器	3	3			
	有毒ガス測定器	3	3			
	酸素濃度測定器	1	1			
	放射線測定器	7	5	1		1
隊員保護用具 器	空気呼吸器	64	33	8	8	15
	酸素呼吸器	5	5			
	簡易呼吸器	2	2			
	送排風機	2	2			
	耐電衣（7000V）	8	3			5
	防毒マスク	19	19			
	化学防護服	17	6			11
	陽圧式化学防護服	5	5			
	耐熱服	2	2			
放射線防護服	2	2				
除染用器具	除染シヤワ一	1				1
	除染剤散布器	2	2			

種類		計	中央消防署	東分署	西分署	河南消防署
水難救助用具	潜水器具	6	6			
	水中投光器	3	3			
	救命ボート	7	4	1	1	1
	アルミボート	2	2			
	船外機	2	2			
	水中スクーター	1				1
	水中無線機	1	1			
	水中時計	6	6			
検索用器具	簡易画像探索機	3	3			
高度救助用具	地中音響探知機	1	1			
	熱画像直視装置	5	3	1	1	
	夜間用暗視装置	2	2			
その他の救助用具	車両移動器具	1	1			
	緩降機	2	1			1
	ロープ登降機	4	4			
救急器具	耐震式血圧計	7	3	1	1	2
	血中酸素飽和度測定器	7	3	1	1	2
	患者監視モニター	7	3	1	1	2
	手動式人工呼吸器(成人用)	7	3	1	1	2
	手動式人工呼吸器(小児・新生児用)	7	3	1	1	2
	自動式人工呼吸器	7	3	1	1	2
	喉頭鏡セット	7	3	1	1	2
	電動吸引器	7	3	1	1	2
	気管内挿管セット	7	3	1	1	2
	自動体外式除細動器	12	4	2	2	4
	自動式心マッサージ器	5	2	1	1	1
	陰圧式患部固定具	7	3	1	1	2
その他	泡原液(器)	2,720	960	300	580	880
	オイルフェンス(吸着マット)10M	16	8	1	2	5

水防資器材一覧

(5. 4. 1 現在)

備蓄場所 品名	五十部水防センター	中央消防署	福富水防倉庫	寺岡水防倉庫	奥戸水防倉庫	東分署	葉鹿町水防倉庫	河南消防署	小計	分団	合計
ノコギリ	20	10	2	2		5	5	3	47	38	85
なた	10	10	1	1		5	2	5	34	38	72
唐鋏		5				2	2	3	12	40	52
斧	10	5					2		17		17
大鎌		4							4		4
小鎌	10	45	5	10		10	15	25	120	40	160
掛矢	10	15	2	3		5	5	5	45	57	102
スコップ	10	50	5	3		5	15	5	93	190	283
つるはし	10	15	2	3		3	5	5	43	40	83
ジョレン		20	3	3		3	10	6	45	40	85
カッター(鉄線切)		5				1	1	3	10	20	30
ペンチ		5		1		1	1	5	13	20	33
ハンマー	10	5	1	1		2	2	2	23		23
フルコン袋		3,000		500		1,500	1,500	2,000	8,500		8,500
シート		30				5	5	10	50		50
ロープ		200							200		200
鉄杭		120	10	20	30	30	70	100	380		380
木杭		400	120	150		30	300	200	1,200		1,200
一輪車		5	1	1		1	1	2	11		11
フルコン土のう		600	2,700	500	500	500	3,000	500	8,300	440	8,740

山林火災器具

(5. 4. 1 現在)

種 類	計	中央消防署	東分署	西分署	河南消防署	消防団
可搬式送水装置	8	2	2	2	2	
手動ポンプ付水のう	336	100	30	30	25	151
携帯用防火セット	34	12	4	4	1	13
熊手	290	12	5	3	5	265
水筒	50	38		12		
木鎌	110	13	5	5	12	75

消防水利の現況

(5. 4. 1 現在) (基)

種 類		計	中央消防署管内	河南消防署管内
消火栓	公 設	2,882	2,023	859
	私 設	5	2	3
防火水槽	公 設	100m ³ 以上	1	1
		40~100m ³ 未満	29	22
		20~40m ³ 未満	277	232
	私 設	100m ³ 以上	18	11
		40~100m ³ 未満	53	27
		20~40m ³ 未満	41	28
プ ール		37	27	10

気 象 年 報

(R4. 1. 1~R4. 12. 31)

項目	月	年 間												前年	極 値				平年値		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		最高最多	起年	最低最小	起年			
気 温 ℃	平均	3.4	3.9	9.8	15.4	19.2	19.9								11.9	15.7	16.10	H25年	13.19	S61年	14.3
	最高平均	8.9	10.0	16.5	21.8	25.7	26.0								18.1	21.1	21.58	H25年	18.32	S61年	19.6
	最低平均	-1.9	-1.7	3.8	10.3	14.0	15.8								6.7	10.9	11.22	H25年	8.62	S61年	9.8
	最高極	14.2	16.7	25.4	30.7	35.1	30.9								35.1	37.1	40.2				
	起 日	9日	28日	14日	27日	29日	2日								5月29日	8月10日	H19年8月16日				
	最低極	-5.7	-5.5	-0.8	0.8	6.9	14.7								-5.7	-7.0					-9.7
	起 日	7日	6日	23日	2日	2日	8日								1月7日	1月10日					S59年1月21日
湿 度 %	平均	59.6	64.8	75.5	64.4	63.0	69.0							66.0	73.7	77.0	S34年	62.5	H16年	70	
	最 小	26.3	23.3	45.5	7.5	8.3	20.8							7.5	10.8					4	
	起 日	27日	3日	31日	8日	8日	1日							4月8日	4月21日					S40年4月27日	
	最小実効	54.0	52.4	74.3	54.1	53.6	57.6							52.4	43.7					33	
起 日	31日	7日	31日	10日	30日	1日							2月7日	2月27日					H19年3月20日		
風 速 m/s	最多風向	静穏	静穏	静穏	東南東	静穏								静穏	静穏						
	平均	1.9	1.7	1.5	1.7	1.6	2.2							1.8	1.2	2.18	S61年	0.31	S39年	2.9	
	平均最大	8.1	7.8	7.1	7.4	8.0	6.4							8.1	8.6	21.0					
	その風向	西北西	北西	西北西	西北西	東南東	北東							西北西	北西						
	起 日	12日	20日	5日	8日	7日	3日							1月12日	3月14日	S34年9月27日					
	瞬間最大	18.4	16.3	14.0	16.2	14.3	12.7							18.4	18.6	31.0					
	その風向	西北西	北西	西	西北西	東南東	南東							西北西	北西						
起 日	12日	20日	5日	8日	7日	1日							1月12日	2月11日	S47年8月3日						
降 水 mm	合 計	2.5	40.0	72.0	117.0	109.0	25.0							365.5	1004.0	1746.5	H3年	694.5	S48年	1524.7	
	日最大	2.5	19.5	30.5	28.0	33.0	17.0							33.0	51.0	203.0					
	起 日	11日	10日	18日	4日	27日	6日							5月27日	6月16日	H23.7.19					
降 雪 cm	合 計	-	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	5.5	0.0	95.6	S59年				18	
	日最大	-	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	0.0	22.0					
	起 日	-	18日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2月18日	2月17日	H10年1月8日					
天 気	晴	27	23	24	16	20	15	23	13	13	18	23	24	239	237	241	H23年	176	H10年	209.4	
	曇	3	4	5	12	8	12	5	14	11	11	5	3	93	81	143	S44年	81	R3年	117.6	
	雨	1	0	2	2	3	3	3	4	6	2	2	3	31	47	51	S31年	25	S59年	35.9	
	雪、みぞれ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	7	S62年	0		1.7	
	霧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	S49年	0		0.9	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
降雨日(≥1mm)	1	7	6	9	10	3	0	0	0	0	0	0	36	86	142	S34年	75	S53年	108.7		
雨日数	1	7	13	16	18	6	0	0	0	0	0	0	61	157	190	H10年	100	S32年	166		
雪日数	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1	25	S59年	0		6.4		
火災警報発令回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	S45年	0		0.4	

観測開始日 昭和30年 5月 1日
 観測所(現在) 足利市河南消防署(足利市堀込町190番地1)
 位置 北緯36度29分58秒 東経139度26分37秒
 (令和4年3月31日まで) 足利市河南消防署南分署(足利市上洪垂町1223番地)
 位置 北緯36度18分2秒 東経139度28分44秒
 観測機器 ㈱日本エレクトリック・インスルメント社製 気象観測システムFWS-4800型
 (風向計、瞬間風速計、温度計、湿度計、雨量計、気圧計)

※令和4年6月9日から気象観測装置不具合のため、
 観測不能となっております。なお、天気日数は目視で観
 測するため、記載通りとなっております。

通 信 指 令 編

通信指令施設等の現況

高機能消防指令センター（Ⅱ型）構成機器 （5. 4. 1現在）

指令装置（指揮台含む）	3 式	電 源 設 備	1 式
表 示 盤	4 面	統合型位置情報通知装置	1 式
無 線 統 制 台	1 台	消 防 O A シ ス テ ム	1 式
指 令 電 送 装 置	1 式	放 送 設 備	1 式
気 象 情 報 収 集 装 置	1 式	駆 け 付 け 電 話 機	4 台
災 害 状 況 等 自 動 案 内 装 置	1 式	E メ ー ル 1 1 9 装 置	1 台
順 次 指 令 装 置	1 式	F A X 1 1 9 受 信 装 置	1 台
音 声 合 成 装 置	1 式	シ ス テ ム 監 視 装 置	1 式
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置	1 式	N e t 1 1 9	1 式

消防救急無線装置 （5. 4. 1現在）

基 地 局	固 定 局	移 動 局	受 令 機
足利消防 活動波 1			受令機 31台
活動波 3	足利消防 1局	車載型 10W17台	
主運用波 1		5W15台	
統制波 1	足利消防西 1局	携帯型 5W42台	車載型受令機 20台
統制波 2		署活系 1W95台	
統制波 3	分団詰所等 24局	可搬型 10W4台	
足利消防西 活動波 2			
活動波 3			

無線サイレン吹鳴装置 （5. 4. 1現在）

親 機	通 信 指 令 課	1
子 機	分 団 詰 所 等	24

災害受信ファクシミリ等 （5. 4. 1現在）

消防専用	消防本部・署・分署	6
	分 団 詰 所	20

地震感知装置 （5. 4. 1現在）

地震計	栃木県	震度情報ネットワークシステム一式	足利市大正町863 消防本部庁舎1階事務室
-----	-----	------------------	--------------------------

災害・予警報受理状況

災害覚知（第一報）

（4. 1. 1～4. 12. 31）（回）

種別 覚知別	合計	火災	救急	救助	その他
1 1 9（固定電話からNTT加入電話）	1,319	9	1,263	11	36
1 1 9（固定電話からNTT加入電話以外）	1,756	2	1,738	10	6
1 1 9（携帯電話から）	2,967	17	2,863	40	47
F A X 1 1 9					
E メール 1 1 9					
N e t 1 1 9	1		1		
加入電話（固定電話から）	176	3	131	1	41
加入電話（携帯電話から）	17		12	2	3
警察電話	348	3	288	23	34
駆け付け通報	18		16		2
事後通知	6	6			
自己覚知	8		6		2
消防・救急無線	52		30		22
ひとり暮らし緊急通報システム	45		45		
病院直通電話	120		120		
その他	15		11	3	1
合計	6,848	40	6,524	90	194

E メール消防防災情報加入状況

（件）

事業名	令和4年度中の 加入件数	令和4年年度末 現在の加入件数	事業内容
Eメール 消防防災 情報配信	+84	14,945	市内で発生した災害や気象などに関する警報が発表された場合、その情報等を登録した方のスマートフォン等にEメール配信しお知らせするものです。

E メール消防防災情報の配信状況

（4. 1. 1～4. 12. 31）（回）

区分	火災情報	火災以外 の情報	気象情報	震度情報	緊急の お知らせ	消防情報	合計
令和4年中 の配信数	91	653	54	14	14	8	834

災害情報テレホンサービスの利用状況

（4. 1. 1～4. 12. 31）（回）

令和4年中の 利用数	56,532	月平均	4,711	日平均	155
---------------	--------	-----	-------	-----	-----

気象通報受理状況

(4. 1. 1~4. 12. 31) (回)

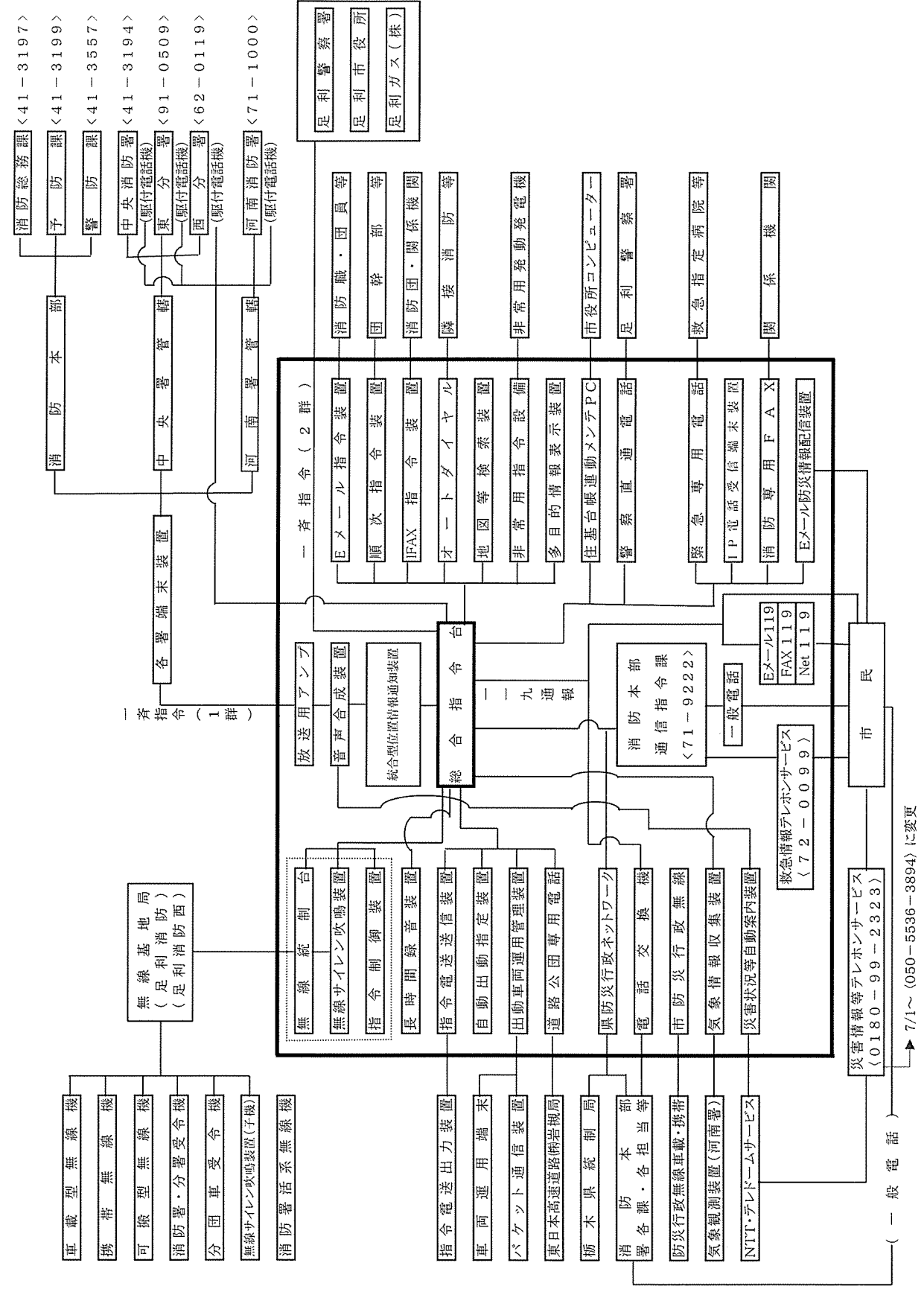
区分		月別	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
特別警報	暴風															
	暴風雪															
	大雨															
	大雪															
警報	暴風															
	暴風雪															
	大雨	2								1		1				
	大雪															
	洪水															
注意報	風雪															
	強風	17	2	2	6	1					1	1		1	3	
	大雨	15						2	1	5	2	5				
	大雪	3		2	1											
	雷	77	1	1	3	3	6	22	16	16	7	1			1	
	乾燥	22	2	3	7	2	1						1	1	5	
	濃霧	84	3	2	6	7	11	8	6	7	4	7	17		6	
	着氷(雪)	1			1											
	洪水	7						1		2	1	3				
	低温	17	11	6												
	その他	10			3	6	1									
情報	栃木県気象	177	18	19	10	1	2	21	49	34	10	1			12	
	異常気象															
	台風	387				1		1	69	85	227	4				
	竜巻	22						11	9	2						
	土砂災害	3									3					
	記録的豪雨															
通報	火災気象	39	4	3	9	5	1					1		1	15	
	その他															
計		883	41	38	46	26	25	64	157	148	262	14	20	42		

水防警報等受理状況

(4. 1. 1~4. 12. 31) (回)

区分		月別	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
利根川水系 洪水予報 (国土交通省 ・気象庁)	洪水警報														
	洪水注意報														
	洪水情報														
	解除														
水防警報 (国土交通省) 基本系	待機														
	準備														
	出動														
	指示														
	解除														
	情報														
水防警報 (栃木県) 補助系	待機														
	準備														
	出動														
	指示														
	解除														
	情報														
草木ダム 放流通知		6	1					1		1		3			
高津戸ダム放流通知		42						10	4	9	5	12	2		
松田川ダム放流通知															
計		48	1					11	4	10	5	15	2		

消防通信指令施設系統図 (5.4.1 現在)



火 災 編

火災発生状況総括表

(4. 1. 1~4. 12. 31)

区分		単位	合計	月 別											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災件数	合計	件	40	2	2	8	4	6	8	2	1		2	1	4
	建物		24	1		5	2	4	4	2	1		1	1	3
	林野														
	車両	自動車	7			1	2	1	2				1		
		鉄道													
		その他		9	1	2	2		1	2					
	爆発														
焼損棟数	合計	棟	41	1		10	5	7	10	2	1		1	1	3
	全焼		15			4	3	3	4	1					
	半焼		2					1			1				
	部分焼		10			2	1		4				1		2
	ぼや		14	1		4	1	3	2	1				1	1
建物焼損床面積		㎡	1,294			328	131	349	178	162	100		2		44
建物焼損表面積			77			17	3		57						
林野焼損面積		a	1			1									
死者		人	2					2							
負傷者			10						3	3				1	3
爆発	死者														
	負傷者														
り災世帯数	合計	世帯	21			7	1	3	5	1			1	1	2
	全損		6			2	1	2		1					
	半損		1					1							
	小損		14			5			5				1	1	2
り災人員		人	35			11	3	3	10	2			1	3	2
爆発	り災世帯数	世帯													
	り災人員	人													
損害額	合計	千円	48,985		13	25,751	3,312	11,058	3,975	1,652	2,372		101	1	750
	建物	建築物	41,298			24,450	1,944	9,335	2,317	1,000	1,750		86		416
		収容物	4,633			1,004	368	921	733	652	622			1	332
	林野														
	車両		2,769			297	1,000	800	657				15		
	その他		285		13			2	268						2
	爆発														

(注) 1 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

2 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。

過去5年間の火災発生状況

区 分		単位	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成29年	5年間の平均		
火災件数	合計	件	40	47	55	43	42	45		
	建物		24	22	31	19	29	25		
	林野			6	6	4	2	4		
	車 両		自動車 鉄道	7	3	1	4	2	3	
	その他			9	16	17	16	9	13	
	爆発									
焼損棟数	合計	棟	41	37	43	35	42	40		
	全焼		15	15	12	21	13	15		
	半焼		2		2	1	1	1		
	部分焼		10	12	12	8	11	11		
	ぼや		14	10	17	5	17	13		
建物焼損床面積		㎡	1,294	1,229	1,620	1,928	1,831	1,580		
建物焼損表面積			77	161	45	91	72	89		
林野焼損面積		a	1	16,739	26	979	3	3,550		
死者		人	2	4	3	3	4	3		
負傷者			10	8	15	7	4	9		
爆発	死者									
	負傷者									
り災世帯数	合計	世帯	21	16	27	14	28	21		
	全損		6	5	7	11	8	7		
	半損		1		2			1		
	小損		14	11	18	3	20	13		
り災人員		人	35	33	58	31	47	41		
爆発	り災世帯数	世帯								
	り災人員	人								
損害額	合計	千円	48,985	96,924	102,458	121,025	63,843	86,647		
	建物		建築物	41,298	30,707	84,974	67,097	48,983	54,612	
			収容物	4,633	27,210	12,726	38,843	13,390	19,360	
	林野			31,194		12,960		8,831		
	車 両			2,769	2,821	704	1,916	1,279	1,898	
	その他			285	4,992	4,054	209	191	1,946	
	爆発									

(注) 1 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

2 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。

3 平均値は、四捨五入を行っているため数値が整合しない場合がある。

地区別火災発生状況

(4. 1. 1～4. 12. 31)

火災別 地区別	合計		建築物火災				林野火災		車両火災			その他火災		爆発		出 火 率				
	件 数 件	損害額 千円	件 数 件	焼損面積		損害額 千円	件 数 件	焼 損 面 積 a	損害額 千円	件 数 件	自 動 車 等 (台)	鉄 道	損害額 千円	件 数 件	損害額 千円		件 数 件	損害額 千円		
				床面積															表面積	
				m ²	m ²														m ²	m ²
合計	40	48,985	24	1,294	77	45,931	1		7	10		2,769	9	285			2.79			
旧市内	7	7,858	5	308	15	7,058	1		1	1		800	1				2.91			
毛野	2	95	1		2	95							1				1.34			
山辺	6	1,400	5	99	57	1,400							1				2.97			
三重	2	1,619	2	162		1,619											2.51			
山前	3	1,435	2	78		1,435							1				2.36			
北郷	1	200							1	1		200					0.80			
名草																				
富田	2	500							1	1		500	1				5.09			
矢場川	3	1,437	2	45		1,012			1	1		157		268			7.17			
御厨	2	150	1						1	1		150					1.35			
筑波	2	1,777	2	65	3	1,777											5.89			
久野	3	3,732	1	92		3,704			1	1		15	1	13			16.76			
梁田	3	4,499	1	158		3,697			1	1		800	1	2			6.61			
三和																				
葉鹿	2	22,439	1	156		22,292				3		147	1				2.88			
小俣	2	1,844	1	131		1,842							1	2			3.07			

(注) 1 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。

分団別火災発生状況

(4. 1. 1~4. 12. 31)

分団別	火災別	合計		建物火災			林野火災		車両火災			その他の火災		爆発				
		件数	損害額 千円	件数	焼損面積		損害額 千円	件数	焼損面積 a	損害額 千円	件数	自動車等 (台)	鉄 道	損害額 千円	件数	損害額 千円	件数	損害額 千円
					床面積 ㎡	表面積 ㎡												
合計		40	48,985	24	1,294	77	45,931	1		7	10		2,769	9	285			
第1分団 区 域		3	3,138	3	174	15	3,138	1										
第2分団 区 域		4	4,720	2	134		3,920			1	1		800	1				
第3分団 区 域		2	95	1		2	95							1				
第4分団 区 域		1	14	1			14											
第5分団 区 域		5	1,386	4	99	57	1,386							1				
第6分団 区 域		2	1,619	2	162		1,619											
第7分団 区 域		3	1,435	2	78		1,435							1				
第8分団 区 域		1	200							1	1		200					
第9分団 区 域																		
第10分団 区 域		2	500							1	1		500	1				
第11分団 区 域		3	1,437	2	45		1,012			1	1		157		268			
第12分団 区 域		2	150	1						1	1		150					
第13分団 区 域		2	1,777	2	65	3	1,777											
第14分団 区 域		3	3,732	1	92		3,704			1	1		15	1	13			
第15分団 区 域		3	4,499	1	158		3,697			1	1		800	1	2			
第16分団 区 域		2	22,439	1	156		22,292				3		147	1				
第17分団 区 域		2	1,844	1	131		1,842							1	2			
第18分団 区 域																		
第19分団 区 域																		

(注) 1 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。

出火原因別火災発生状況

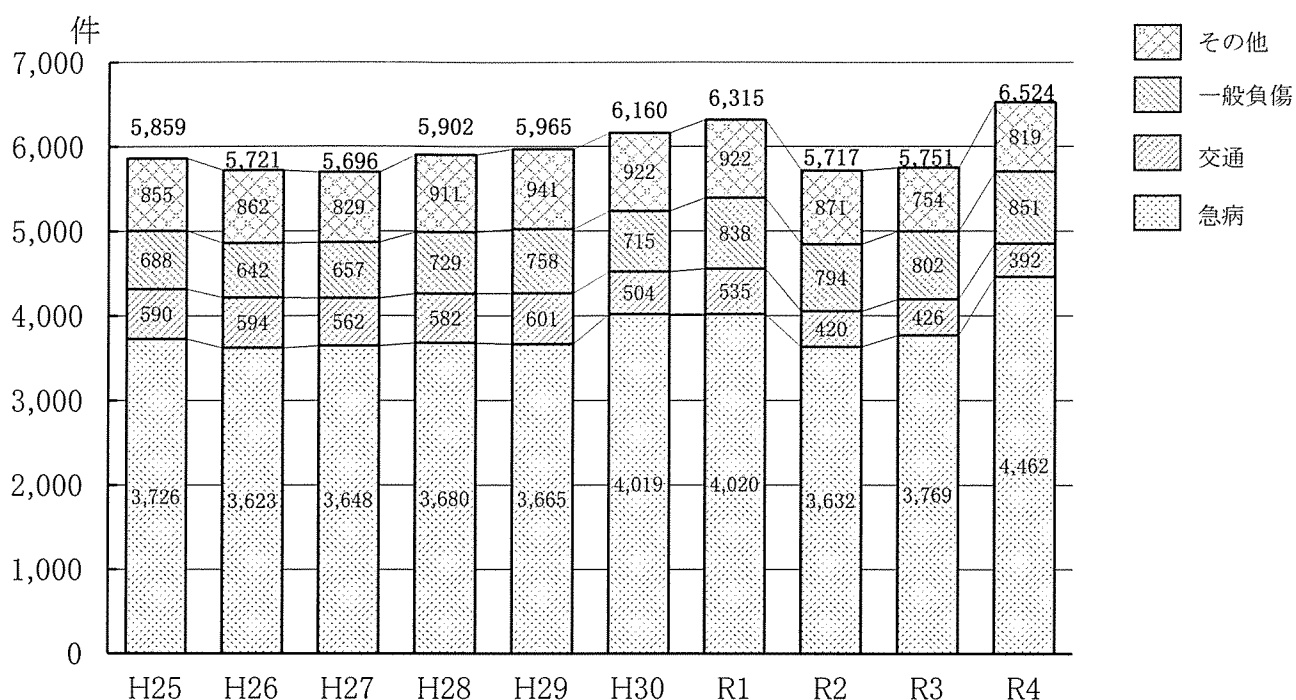
区分	年	火災件数					その他 火の 災他	令和 3年 (件)	令和 2年 (件)	令和 元年 (件)	平成 30年 (件)	
		令和 4年 (件)	建 物 火 災	林 野 火 災	車両火災							
					計	自 動 車						鉄 道
合計		40	24		7	7		9	47	55	43	42
たばこ		6	1					5	11	7	5	6
こんろ		5	4		1	1			6	4	1	4
かまど												
風呂かまど											1	
炉												
焼却炉											1	
ストーブ		2	2							4	2	
こたつ											1	
ボイラー												
煙突・煙道											1	
排気管		2			2	2			1		2	1
電気機器		1			1	1			3		1	1
電気装置		1	1							2		
電灯・電話等の配線		2	2						4	3	2	3
内燃機関												
配線器具		1	1								1	
火遊び		2	1					1			1	
マッチ・ライター												
たき火		1						1	6	7	7	3
溶接機・切断機		2	2									
灯										1		
衝突の火花												
取灰		1	1						2	2	2	
火入れ										1	1	
放火		3	2					1	1	1	3	6
放火の疑い		2	1		1	1			3	7	3	4
その他		4	1		2	2		1	4	14	4	7
不明・調査中		5	5						6	2	4	7

救

急

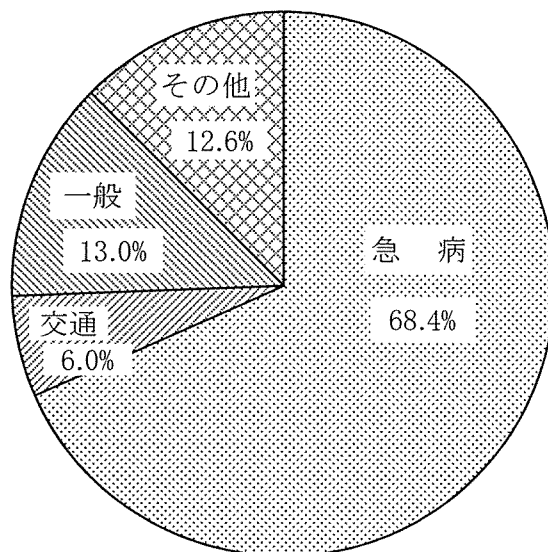
編

救急出動件数(10年間の推移)



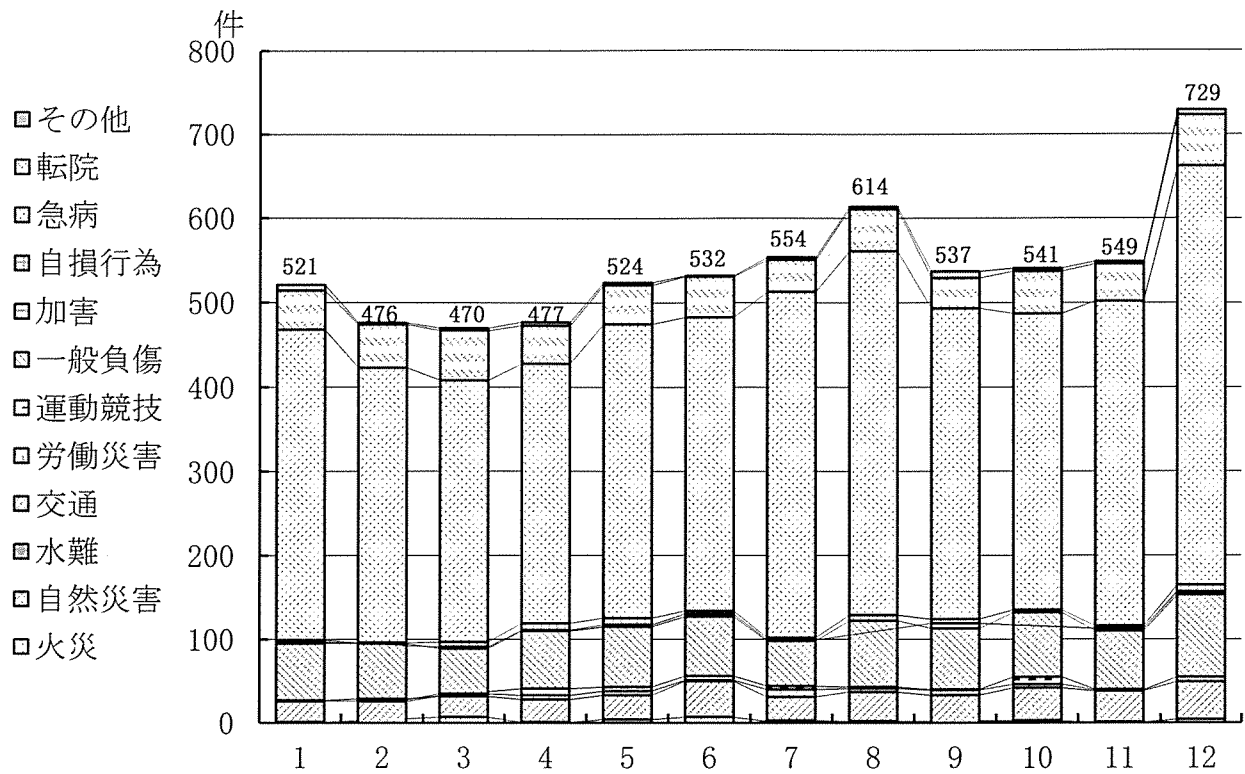
区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
急病	3,726	3,623	3,648	3,680	3,665	4,019	4,020	3,632	3,769	4,462
交通	590	594	562	582	601	504	535	420	426	392
一般負傷	688	642	657	729	758	715	838	794	802	851
その他	855	862	829	911	941	922	922	871	754	819
合計	5,859	5,721	5,696	5,902	5,965	6,160	6,315	5,717	5,751	6,524

救急出動内訳(令和4(2022)年中)



月別事故種別救急出動件数

(4. 1. 1~4. 12. 31)



(4. 1. 1~4. 12. 31)

月別 事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	1		7	1	4	7	2	1		2	1	4	30
自 然 災 害													
水 難							1	1		1			3
交 通	25	26	25	27	29	43	28	35	33	39	37	45	392
労 働 災 害		2	3	5	5	1	9	4	6	4	1	6	46
運 動 競 技	1	1		8	5	5	4	2	1	9	1		37
一 般 負 傷	68	66	54	69	72	71	54	79	73	77	70	98	851
加 害	2		2	1	2	3	1		6		3	4	24
自 損 行 為	2	1	6	8	8	4	3	7	5	3	3	8	58
急 病	369	327	311	309	350	349	411	432	369	352	386	497	4,462
転 院	46	51	59	45	46	48	38	50	36	50	44	61	574
そ の 他	7	2	3	4	3	1	3	3	8	4	3	6	47
合 計	521	476	470	477	524	532	554	614	537	541	549	729	6,524

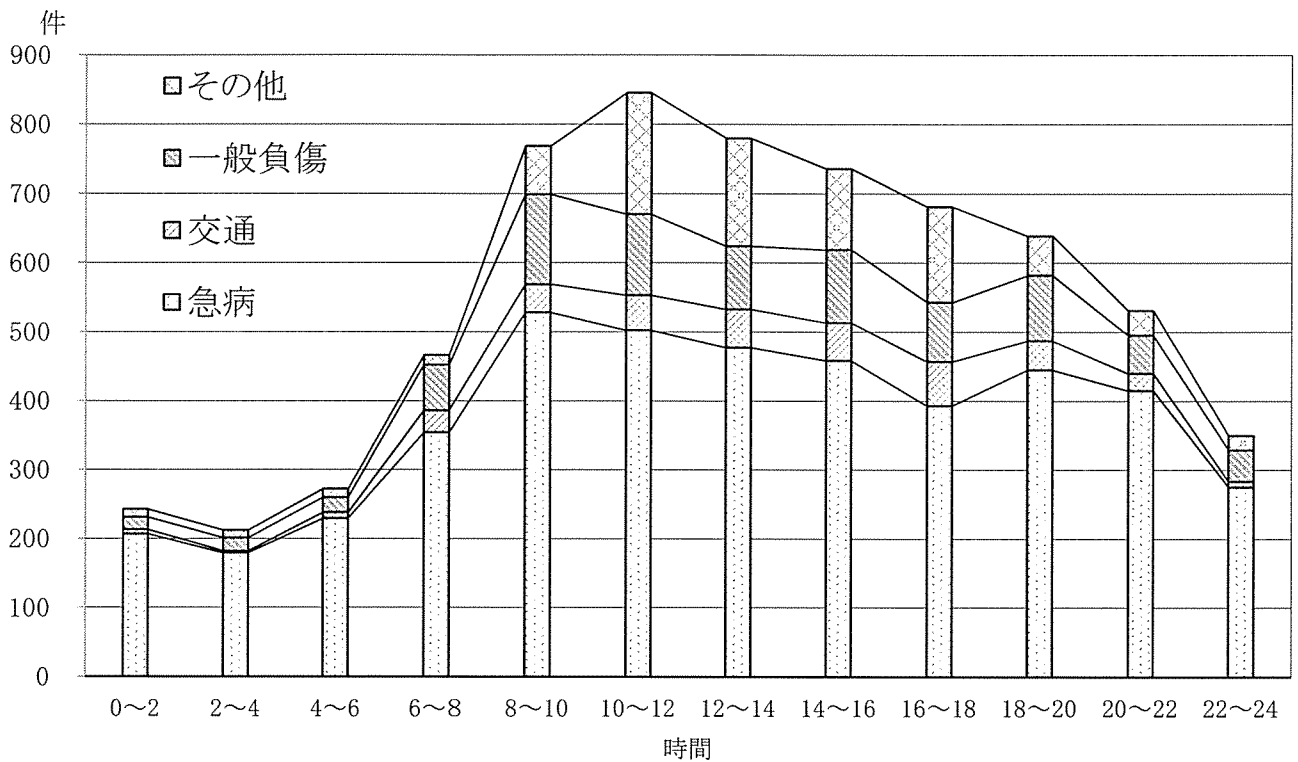
曜日別出動件数

(4. 1. 1～4. 12. 31)

区 分	日	月	火	水	木	金	土	合 計
急 病	638	659	657	660	607	636	605	4,462
交 通	47	65	49	57	49	72	53	392
一 般 負 傷	114	119	133	102	134	109	140	851
そ の 他	69	134	141	109	104	142	120	819
合 計	868	977	980	928	894	959	918	6,524

時間別出動件数

(4. 1. 1～4. 12. 31)



時間別 事故種別	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	合計
	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	
急 病	207	179	229	354	528	502	477	458	393	445	415	275	4,462
交 通	6	3	9	32	41	51	56	55	64	42	25	8	392
一 般 負 傷	18	19	22	66	130	117	91	106	86	95	55	46	851
そ の 他	12	11	12	14	70	175	156	117	138	57	36	21	819
合 計	243	212	272	466	769	845	780	736	681	639	531	350	6,524

覚知別出動件数

(4. 1. 1～4. 12. 31)

覚 知 別	専用電話	加入電話	警察電話	かけつけ	そ の 他	合 計
出 動 件 数	5,864	143	288	16	213	6,524
構成割合(%)	89.9	2.2	4.4	0.2	3.3	100

署別出動件数

(4. 1. 1～4. 12. 31)

年 署 別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
中 央 署	1,714	1,711	1,699	1,829	1,781	1,856	1,908	1,785	1,738	2,590
東 分 署	715	726	652	582	637	653	730	583	611	918
西 分 署	1,083	1,096	1,070	1,063	1,075	1,120	1,102	995	1,028	1,085
河 南 署	1,488	1,369	1,423	1,481	1,491	1,520	1,573	1,432	1,459	1,700
南 分 署	859	819	852	947	981	1,011	1,002	922	915	231
合 計	5,859	5,721	5,696	5,902	5,965	6,160	6,315	5,717	5,751	6,524

※南分署は組織改正に伴い廃止となったため、令和4年3月31日までの件数。

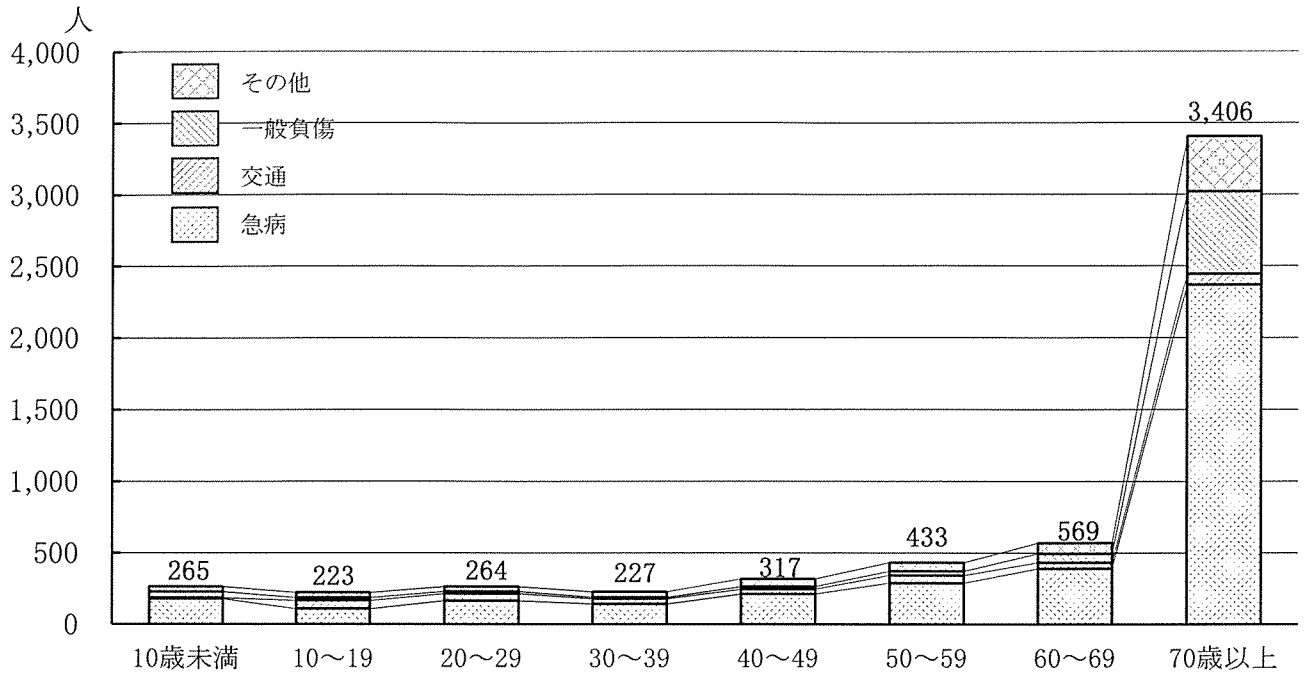
地区別出動件数

(4. 1. 1～4. 12. 31)

区 分	急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
旧 市 内	816	102	164	209	1,291
毛 野	422	31	88	21	562
山 辺	735	64	121	180	1,100
三 重	261	14	52	92	419
山 前	380	26	89	63	558
北 郷	308	23	67	58	456
名 草	40	3	12	1	56
富 田	119	15	28	47	209
矢 場 川	98	5	18	22	143
御 厨	490	36	61	25	612
筑 波	109	11	18	8	146
久 野	57	11	12	7	87
梁 田	156	18	16	16	206
三 和	97	3	14	4	118
葉 鹿	210	15	47	37	309
小 俣	162	11	43	28	244
市 外	2	4	1	1	8
合 計	4,462	392	851	819	6,524

年齢別搬送人員

(4. 1. 1~4. 12. 31)



区分	10歳未満	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	合計
急病	179	108	165	143	213	288	389	2,368	3,853
交通	7	59	49	36	33	55	43	78	360
一般負傷	43	20	16	12	18	28	63	573	773
その他	36	36	34	36	53	62	74	387	718
合計	265	223	264	227	317	433	569	3,406	5,704

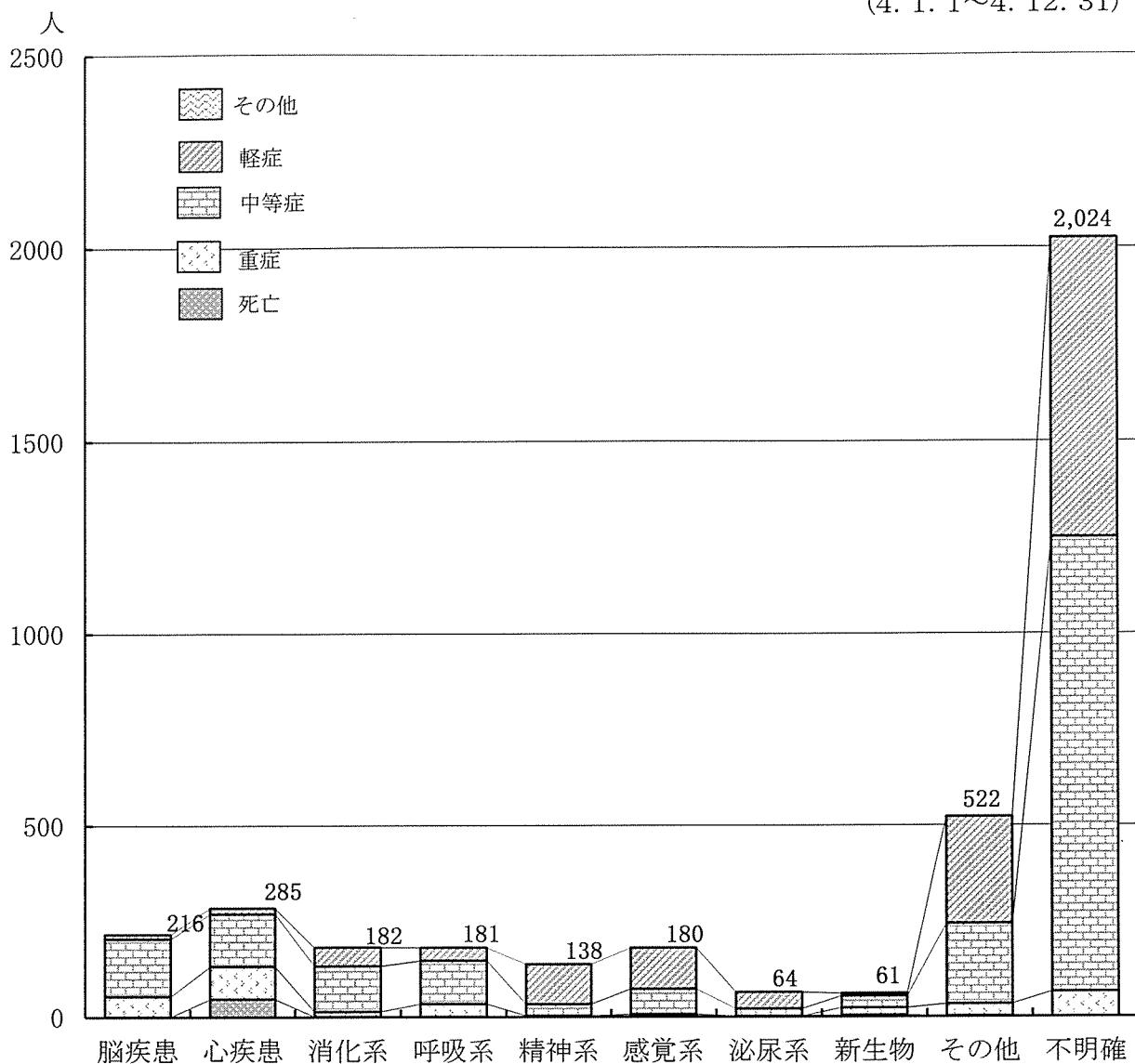
事故種別・傷病程度別搬送人員

(4. 1. 1~4. 12. 31)

事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡					2		2		5	56		65
重症				8	2		31		6	311	100	458
中等症	3			74	13	4	334	6	20	2,061	428	2,943
軽症	5			278	29	32	405	10	8	1,425	45	2,237
その他							1					1
合計	8			360	46	36	773	16	39	3,853	573	5,704

急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員

(4. 1. 1~4. 12. 31)



疾病種類 区分	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	合計
死亡	1	47	1	1				4	2		56
重症	53	85	13	33	3	7	2	19	31	65	311
中等症	150	137	119	113	30	66	19	31	210	1186	2,061
軽症	12	16	49	34	105	107	43	7	279	773	1,425
その他											
合計	216	285	182	181	138	180	64	61	522	2,024	3,853

救急隊員の行った応急処置件数

(4. 1. 1~4. 12. 31)

区 分		急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
応 急 処 置	止 血	28	29	92	22	171
	固 定	54	170	230	43	497
	人 工 呼 吸	3	1	2	1	7
	心 肺 蘇 生	110	1	7	13	131
	酸 素 吸 入	949	16	40	201	1,206
	気 道 確 保	156	1	10	15	182
	保 温	46	7	9	18	80
	被 覆	23	63	182	44	312
	血 圧 測 定	3,668	355	754	683	5,460
	聴 診	981	103	123	112	1,319
	血中酸素飽和度測定	3,743	359	759	700	5,561
	心 電 図 測 定	3,355	185	562	559	4,661
	血 糖 測 定	48				48
	そ の 他	3,818	360	768	700	5,646
救 命 処 置	除 細 動	9				9
	ラリnge [*] アルマスク等	(34)		(2)	(2)	(38)
	気 管 挿 管			(2)		(2)
	静脈路確保(CPA前)	8				8
	静脈路確保(CPA後)	46		4	5	55
	静脈路確保(ブドウ糖投与)	10				10
	アドレナリン投与	38		4	5	47
	ブドウ糖投与	10				10
処 置 件 数		17,103	1,650	3,546	3,121	25,420
対 象 人 員		3,853	360	773	718	5,704

()内は気道確保に含まれる。

応急手当指導件数

(4. 1. 1~4. 12. 31)

講 習 区 分	普 通 救 命	上 級 救 命	普 及 員	救 急 法							合 計
				自 治 会 防 災 訓 練	保 育 所 等	小 中 学 校	高 校	そ の 他 学 校	事 業 所	そ の 他	
実施回数	7	1			2	6	1		10	7	34
受講人員	141	30			34	68	37		171	201	682

(注)普通救命・上級救命・普及員は再講習を含む。

救

助

編

救助出動及び活動状況

(4. 1. 1～4. 12. 31)

区分	事故種別		交通 事故	水 難 事 故	自風 然水 災害 害等	事機 械に よ 故る	事建 物等 によ 故る	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	事そ の 他 の 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
出 動 件 数	19	5	24	5		4	15			28	100
活 動 件 数	12	1	13	5		2	12			13	58

署所別出動状況

(4. 1. 1～4. 12. 31)

署所別	事故種別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自風 然水 災害 害等	事機 械に よ 故る	事建 物等 によ 故る	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	のそ の 事 の 他 の 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
中 央 消 防 署	中 央	5	1	14			1	5			12	38
	東	3	2	3	1		1				8	18
	西	3		2	2		1	2			5	15
小 計		11	3	19	3		3	7			25	71
河 南 消 防 署	河 南	8	1	5	2			7			3	26
	南		1				1	1				3
小 計		8	2	5	2		1	8			3	29
市 外												
合 計		19	5	24	5		4	15			28	100

※南分署は組織改正に伴い廃止となったため、令和4年3月31日までの件数。

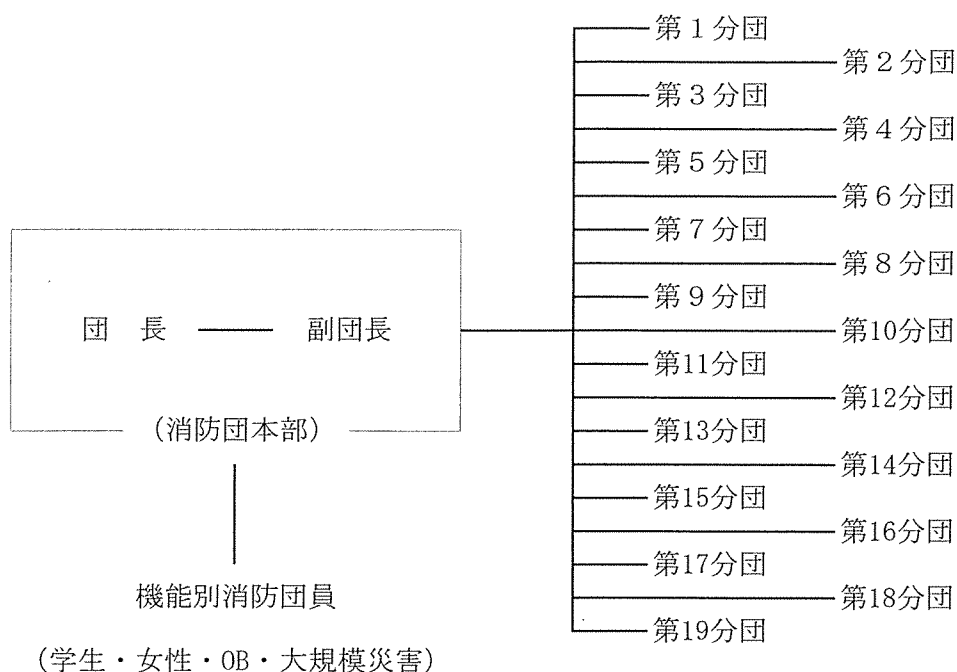
月別出動状況

(4. 1. 1~4. 12. 31)

事故種別 月別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自風 然水 災害 害等	機 械 に よ る 事 故	事建 物等 に よ る 事 故	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	事そ の 他 の 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
1 月			2				3			3	8
2 月			1	1		1	2			2	7
3 月	5	1	1			1	2			2	12
4 月	1		1	1		1	1			3	8
5 月	4	1	3							1	9
6 月	4	2	4								10
7 月	1		1	1			1			4	8
8 月	1		2	1							4
9 月			1				2				3
10月	1	1	1	1		1	3			3	11
11月	1		3							2	6
12月	1		4				1			8	14
合 計	19	5	24	5		4	15			28	100
令和3年	15	5	29	1		2	10	1		15	78
令和2年	24	2	25	11		1	6	1		27	97
令和元年	16	6	33	4	34	6	12	1		10	122
平成30年	22	3	34	7		3	13			30	112
平成29年	14	4	39	1		6	21			19	104

消 防 団 編

消 防 団 の 組 織



構成 (定員)

区 分	階 級								計
	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員		
団 編 制	1	3	19	19	38	57	437	574	

団員報酬等

【基本消防団員】

職 制 別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	副部長	班 長	団 員
報酬(年額)	187,000	134,000	99,000	77,000	67,000	56,000	51,000	48,000

【機能別消防団員】

職 制 別	団 員
報酬(日額)	2,000

【出動報酬】

- ア 水火災その他害出動 1日につき 4,000円
ただし、7時間 45分以上 1日につき 8,000円
- イ 現場到着時に鎮火していた火災、誤報などによる出動の場合
1日につき 2,000円
- ウ 警戒、訓練等 1日につき上限2,000円

その他

団本部交付金は、年460,000円

分団交付金は、1箇分団年160,000円+人数割(6,000円/1人)

消防ポンプ自動車購入、修繕、燃料、建物修理及び被服費などは市費で賄っている。

消防団員の在職年数及び年齢

在職年数別階級別

(5. 4. 1現在) (人)

階級別 在職年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
5年未満							134	134
5年～9年					1	6	85	92
10年～14年			1	1	6	13	66	87
15年～19年			4	3	11	21	32	71
20年～24年			4	7	10	13	9	43
25年～29年		1	5	4	8	3	8	29
30年以上	1	2	5	4	2		6	20
計	1	3	19	19	38	56	340	476

年齢別階級別

(5. 4. 1現在) (人)

階級別 年 齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
18歳以上～20歳未満							1	1
20歳以上～25歳未満							26	26
25歳以上～30歳未満							40	40
30歳以上～35歳未満						1	42	43
35歳以上～40歳未満					1	7	67	75
40歳以上～45歳未満				1	7	14	48	70
45歳以上～50歳未満		1	6	8	16	25	58	114
50歳以上～55歳未満		1	5	8	9	8	27	58
55歳以上～60歳未満		1	7	2	5	1	13	29
60歳以上～65歳未満	1		1				14	16
65歳以上							4	4
計	1	3	19	19	38	56	340	476

分団詰所の現況

(5. 4. 1現在)

区分 名称	所在地	構造	棟 数	建築面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月日
第1分団	緑町1丁目6-3	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	294.89	H 3. 3. 25
第2分団	助戸3丁目518-18	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	520.09	H10. 12. 15
第3分団	八柵町81-4	鉄骨造平家建	1	95.95	604.71	H12. 3. 14
第4分団	八幡町3丁目1-1	鉄骨造平家建	1	95.95	515.02	H14. 2. 28
第5分団	田中町924-1	壁式鉄筋コンクリート造 平家建	1	61.60	246.33	S61. 3. 28
第6分団	五十部町327-3	鉄筋コンクリート造2階建	1	98.00	185.56	H 8. 12. 26
第7分団	山下町1313-1	鉄骨造平家建	1	95.95	824.91	H19. 3. 15
第8分団	利保町3丁目7-5	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	338.15	H 4. 3. 6
第9分団	名草中町1505	鉄骨造平家建	1	95.95	926.00	H24. 3. 26
第10分団	駒場町749-2	鉄筋コンクリート造平家建	1	72.25	686.62	S63. 10. 31
第11分団	里矢場町2143	木造スレート瓦葺平家建	1	59.62	301.00	S58. 2. 28
第12分団	島田町793-1	鉄筋コンクリート造平家建	1	72.25	354.84	H 2. 3. 20
第13分団	小曾根町515	鉄骨造平家建	1	95.95	469.66	R 5. 3. 20
第14分団	久保田町236-2	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	429.26	H 5. 12. 13
第15分団	福富町400-3	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	490.20	H 9. 12. 19
第16分団	葉鹿町648-1	鉄骨造平家建	1	95.95	851.84	H29. 3. 17
第17分団	小俣町1510-1	鉄骨造平家建	1	95.95	1,142.20	H13. 3. 15
第18分団	松田町445-1	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	563.05	H 7. 2. 5
第19分団 (松田)	松田町2016-4	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	450.47	H 7. 12. 27
第19分団 (小俣)	小俣町3364-1	木造スレート瓦葺平家建	1	61.71	347.36	S58. 12. 6

消防車両の配置状況

(5. 4. 1 現在)

区分 名称	車名	型式	年式	出力 (kW)	登録番号	規格	登録年月日
第1分団	日野	TKG-XZU600E	2015	110	とちぎ800さ8326	CD-I型	H27.11.17
第2分団	日野	2RG-XZU600E	2020	90	とちぎ800す709	CD-I型	R 2.10.27
第3分団	日野	TKG-XZU600E	2012	110	とちぎ800さ7187	CD-I型	H24.11. 2
第4分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4725	CD-I型	H 9.11.21
第5分団	日野	SKG-XZU600E	2012	110	とちぎ800さ6911	CD-I型	H24. 2.13
第6分団	トヨタ	BDG-XZU334	2009	110	とちぎ800さ6091	CD-I型	H21. 8.19
第7分団	日野	TKG-XZU600E	2014	110	とちぎ800さ7898	CD-I型	H26.11.10
第8分団	三菱	KC-FE538B改	1995	96	栃木88ね9494	CD-I型	H 7.11.21
第9分団	日野	SKG-XZU600E	2012	110	とちぎ800さ6912	CD-I型	H24. 2.13
第10分団	日野	2RG-XZU600E	2020	90	とちぎ800す710	CD-I型	R 2.10.27
第11分団	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2198	CD-I型	H 8.12. 4
第12分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4726	CD-I型	H 9.11.21
第13分団	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2199	CD-I型	H 8.12. 4
第14分団	トヨタ	BDG-XZU334	2009	110	とちぎ800さ6093	CD-I型	H21. 8.19
第15分団	三菱	KC-FE538B改	1995	96	栃木88ね9495	CD-I型	H 7.11.21
第16分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4727	CD-I型	H 9.11.21
第17分団	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2200	CD-I型	H 8.12. 4
第18分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4728	CD-I型	H 9.11.21
第19分団 (松田)	三菱	KC-FE538B改	1995	96	栃木88ね9496	CD-I型	H 7.11.21
第19分団 (小俣)	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2201	CD-I型	H 8.12. 4

足利市消防の歌

三田忠夫・作詞
明本京静・作曲

(一)

渡良瀬の 流れとともに
伝統の 歴史はかおる おお
団結の 誓もかたく
消防の 使命つらぬく
おおわれら われら足利 足利の消防

(二)

サイレンの 音響かせて
救急車 人命救助 おお
西ひがし 神速果敢
寸秒の 時を刻んで
おおわれら われら足利 足利の消防

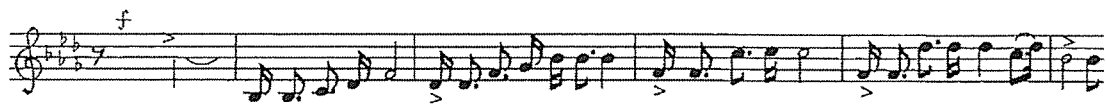
(三)

事あらば 身命賭して
災害の 鎮めにむかう おお
鍛えたる 精神と技を
発揮する 時はいまぞと
おおわれら われら足利 足利の消防

足利市消防の歌



1. わたらせの ながれとともに でんとうの れきしはかおーるー
2. サイレンの おとひびかせて きゅうきゅうしゃ じんめいきゅうーじょー
3. ことあらば しんめいとして さいがいの しずめにむかーうー



おう だんけつの ちかいもかたく しょうぼうの しめいつらぬーくー
おう にしひがし しんそくかかん すんびょうの ときをきざんーでー
おう きたえたる こころとわさを はつきする ときはいまぞーとー



おおーわーれーら わーれらあしーかーが あし かがの しょうぼう
おおーわーれーら わーれらあしーかーが あし かがの しょうぼう
おおーわーれーら わーれらあしーかーが あし かがの しょうぼう

編集・発行 足利市消防本部 消防総務課
〒326-0807 栃木県足利市大正町 863
TEL 0284-41-3197
FAX 0284-42-9920